

目 次

平成24年度定時総会開催にあたって	会長 松永 敏子	2
平成24年度(公社)千葉県看護協会定時総会プログラム		4
審 議 事 項		
第1号議案 (社)千葉県看護協会 平成23年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について		5
第2号議案 平成24年度役員等の選出について		53
第3号議案 平成24年度千葉県看護協会スローガンについて		54
第4号議案 平成25年度(公社)日本看護協会通常総会代議員の選出について		54
報 告 事 項		
平成24年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について		55
平成23年度 理事会報告		72
平成23年度 地区部会長会報告		75
平成23年度 施設等会員代表者会報告		76
平成23年度 職能委員会報告・三職能合同委員会報告		77
平成23年度 日本看護協会関係報告		96
平成23年度 常任委員会報告		100
平成23年度 特別委員会報告		117
参 考 資 料		
千葉県看護協会30周年記念表彰者		119
平成24年度千葉県看護協会会長表彰者		120
看護職員の表彰		122
平成23年度事業の実施状況		124
1. 保健知識の普及啓発に関する事項		
2. 看護職の資質の向上に関する事項		
3. 看護職の確保定着に関する事項		
4. 医療・看護安全対策の推進に関する事業		
5. 災害救護対策に関する事項		
6. 訪問看護推進に関する事項		
7. 地区部会に関する事項		
8. ちば訪問看護ステーション事業に関する事項		
要 望 書		188
平成23年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧		193
各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧		197
名誉会員		199
平成23年度 役員・委員名簿		200
平成23年度 地区・職能別入会状況・入会率		212
年度別会員数		213
地区部会区分図		214
千葉県看護協会組織機構図		215
千葉県看護協会組織運営図		216
千葉県看護協会業務体制		217

平成24年度定時総会開催にあたって

会 長 松 永 敏 子

この度の総会は、「公益社団法人」として第1回目の総会となります。

平成21年度から検討を進め、平成22年度2月通常総会において「公益社団法人への移行に向けた手続きを開始する」旨、会員の皆様の承認を得、平成23年度5月通常総会において公益社団法人としての定款並びに諸規定等の承認を頂き、同10月に新法人移行認定申請書を県知事あて提出、同12月26日の暮れも押し迫った頃、県公益認定等審議会から認定基準に適合する旨の答申が知事あて出されました。そして、本年4月1日、千葉地方法務局に特例社団法人の名称変更による公益社団法人設立登記申請書を提出、手続きが終わりました。

これに至るまで、会員の皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の協会運営にも反映させていきたいと気持ちを新たにしているところです。

さて、平成23年度は、5つの重点事項を掲げた事業計画をご承認いただいた22年度通常総会の約1ヶ月後に、世界中を震撼させた東日本大震災と、これに伴う福島第1原子力発電所の事故が勃発し、これらによる県内外の被災者支援が、当協会事業の大きなウエイトを占める結果となりました。

その為、十分な結果を出せずに終わってしまった当初計画事業もありますが、災害マニュアルや災害支援ナースのように、これらの大災害に直面したことによって、対応に齟齬をきたしかねない点が見つかり、その改正と併せて災害支援ナースの条件及び登録についても再検討の必要性のあることが分かるなど、新たな課題も浮かび上がった事業もありました。

そしてまた、協会活動に対する会員の皆様の積極的な支援に大いに励まされた年でもありました。会員の皆様の当協会に対する思いを再度心に刻みたいと思います。

公益社団法人としてスタートする平成24年度、地域医療再生基金による訪問看護実践センター事業のように、計画には従来なかった高い予算規模の新規事業も盛り込まれました。これらも含め、粛々と事業推進に努めたいと思っています。

中でも看護職として働き続けられる環境づくりの推進は、新法人の定款に記載された目的「・・・看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献する。」を果たすためにも、従来以上に重要な課題となります。

平成22年に当協会が実施した調査の結果、全常勤看護職の離職率は12.1、平成23年度は、幾分改善が見られ11.2でしたが、病院勤務の看護職は常勤換算で30,869人ですから、3,500人近い看護職が職場を離れているという計算になります。この状況を何とかして改善しなければなりません。

看護師等が医療の担い手として誇りを持ち安心して働き続けられる環境づくり、平成24年度は、第3次看護職確保・定着推進計画の作成年度となります。

勤務環境改善を目的とした事業の一つ「看護職のWLB推進ワークショップ」等は、引き続き実施することにしてありますが、質の高い看護職の育成も定着対策には欠かせません。

この4月に同時改定された診療・介護報酬には、「急性期看護補助体制加算1」の新設、看護職員との役割分担に関連する医療関係職の配置に対する評価など、看護職員の負担軽減の促進を目的とした内容等の他、認定看護師、専門看護師など専門性の高い看護師についても評価する内容が盛り込まれました。

また、税と社会保障制度の一体改革のなかで議論がされている看護師特定能力認証制度の実現は、認証された一部の看護師の業務拡大に留まらず、一般の看護職にもまた、従来以上に高度な技術や知識が求められることとなります。

このような動きをしっかり受け止め、今後の協会運営に当たりたいと思っておりますが、特に資格修得教育・ステップアップ教育研修等については、各施設とも積極的に活用され、人材育成に役立てていただきたいと思っておりますし、より充実したものにしていくために、ご要望もおよせ頂ければ幸いです。

公益社団法人となって、通常総会は年1回の開催となりました。会員の方々の声が反映されにくくなるのではとの危惧の声も聞かれます。地区部会活動や、施設等会員代表者会の運営改善、ホームページや機関紙「看護ちば」等の媒体を積極的に活用することにより風通しのよい協会活動につとめたいと思っております。

1年間、ご協力ありがとうございました。会員の皆様の更なるご協力とご支援をどうぞよろしく願いいたします。

平成24年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会
プログラム

日 時 平成24年6月15日(金) 9:00~

場 所 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

8:30 受付

9:00 オリエンテーション

9:10 総会開会

議長団・議事録署名人選出

9:20 審議事項

第1号議案 (社)千葉県看護協会

平成23年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

第2号議案 平成24年度役員等の選出について

第3号議案 平成24年度千葉県看護協会スローガンについて

第4号議案 平成25年度(公社)日本看護協会通常総会代議員の選出について

10:20 選 挙 平成24年度役員の改選

10:40 報告事項

平成24年度事業計画・収支予算について

理事会、職能委員会、常任委員会報告

— 昼 食 —

12:30 役員等選挙結果報告・承認

総会閉会

13:00 アトラクション

13:30 千葉県看護協会創立30周年記念式典

15:40 記念式典閉会

審 議 事 項

- 第1号議案 (社)千葉県看護協会
平成23年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について
- 第2号議案 平成24年度役員等の選出について
- 第3号議案 平成24年度千葉県看護協会スローガンについて
- 第4号議案 平成25年度(公社)日本看護協会通常総会代議員の選出について

第1号議案 (社)千葉県看護協会

平成23年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

平成23年度事業報告

重点事項

1. 看護職として働き続けられる環境づくりの推進
2. 安全で安心な看護を提供する医療安全対策の推進
3. 看護の質を高める生涯教育の推進
4. 県民の健康づくりを支援する「健康ちば21」事業の推進
5. 在宅療養者のQOL（生活の質）を高める訪問看護の推進
6. 助産師の専門性を発揮する助産ケア体制づくりの推進

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
組織・運営に関する事項	1 組織運営に関する会議等の開催 (1)総会 年2回 (2)理事会 年6回 (3)役員会 年5回 (4)施設等会員代表者会 年2回 (5)地区部会長会 年3回 (6)職能・常任委員会合同会議 年1回 (7)保助看護職能委員会 年12回 (8)委員会 ①常任委員会 年6回以上 教育委員会 看護研究学会委員会 訪問看護委員会 看護制度委員会 広報出版委員会 推薦委員会 社会経済福祉委員会 会員増促進委員会 医療安全推進委員会 ②特別委員会適宜 保健知識の普及事業委員会 将来構想検討委員会 生活習慣病対策検討委員会 ナースセンター運営委員会 認定看護管理者制度教育課程運営委員会 訪問看護ステーション運営委員会 災害救護対策支援事業委員会 定款細則等委員会 表彰委員会 30周年記念行事実行委員会 2 会員増の促進 (1)新規入会会員の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設(病院)の入会促進 ③保健師の入会促進 (2)継続入会会員への勧奨 3 会員サービスの充実 (1)会員への相談支援 ①面接、電話等による相談支援 (2)会員への情報提供 ①「看護ちば」、ホームページ等による提供	(1)総会 2回 (5/31) 出席者 294名、委任状、17,872名、合計 18,166名 (2/16) 出席者 277名、委任状、17,556名、合計 17,833名 (2)理事会 8回 (4/14、6/14、7/14、9/15、11/10、12/8、1/12、3/8) (3)役員会 3回 (5/12、10/13、2/9) (4)施設等会員代表者会 3回 (7/21、11/24(臨時)、1/19) (5)地区部会長会 3回 (6/23、10/20、3/1) (6)職能・常任委員会合同会議 1回 (6/16) (7)保助看護職能委員会 各職能委員会月1回開催 (8)委員会 ①常任委員会 年6回以上(常任委員会、特別委員会：各事業欄に記載) 教育委員会 看護研究学会委員会 訪問看護委員会 看護制度委員会 広報出版委員会 推薦委員会 社会経済福祉委員会 会員増促進委員会 医療安全推進委員会 ②特別委員会適宜開催 将来構想検討委員会 ナースセンター運営委員会 認定看護管理者制度教育課程運営委員会 第1回創立30周年記念事業企画運営委員会 (2/28) (1)新規入会会員の促進 平成23年度会員数 (3/31現在 22,730名 前年比 655名増 平成23年度新規入会者数 2,437名) ①新人看護職の入会促進 フレッシュセミナー研修会及び看護学校等の入学式・卒業式において協会のPR ②未加入施設(病院)の入会促進 未加入病院への入会案内等の送付予定 ③保健師の入会促進 保健師職能集会を通じて入会案内の配布、保健師ニュースの発行・配布 (2)継続入会会員への勧奨 継続入会の案内送付 (1)会員への相談支援 ①面接、電話等による相談支援、入会申込、業務上の問題についての相談対応(約20件/日) (2)会員への情報提供 「看護ちば」の発行による情報提供(4月号、7月号、10月号、1月号) ホームページ等による提供(9月リニューアル)(アクセス件数 292,182件)

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事項については記載を省略)
組織・運営に関する事項	<p>(3)会員の福祉の向上</p> <p>①看護職の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県看護協会会長表彰 表彰候補者の推薦 (国、千葉県、日本看護協会等) <p>②慶弔、病気等のお見舞い</p> <p>③災害時の支援</p> <p>(4)IT活用による効率化の促進</p> <p>4 新公益法人移行認定申請</p> <p>(1)将来構想検討委員会の開催</p> <p>(2)新公益法人移行認定申請</p> <p>5 日本看護協会との連携</p> <p>(1)法人会員会 年3回</p> <p>①ブロック別法人会 10月予定 (開催県)</p> <p>(2)審議委員会</p> <p>(3)職能委員長会</p> <p>(4)日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>(5)各事業担当者会議</p> <p>6 行政等との連携</p> <p>(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>(2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>(3)関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>7 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>(1)研修の実施</p> <p>(2)健康診断</p> <p>8 常任委員会 (再掲)</p> <p>(1)会員増促進委員会</p> <p>(2)推薦委員会</p>	<p>(3)会員の福祉の向上</p> <p>①看護職の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県看護協会会長表彰 平成23年度5月通常総会において表彰 (対象者 363名、内訳 施設会員349、個人会員14名) 表彰候補者の推薦 (平成23年度看護功労者知事表彰 1名、日本看護協会会長表彰 5名) <p>②慶弔、病気等のお見舞い</p> <p>東日本大震災による被災者を取りまとめ日本看護協会へ報告 39名 千葉県看護協会会員見舞申請 60件うち40件支給対象 (総額130万円) (慶弔見舞金等規程に傾斜、床上浸水を明記することを理事会で決議)</p> <p>③災害時の支援</p> <p>東関東大震災による会員施設等の被害状況の調査 (支援要請なし)</p> <p>(4)IT活用による効率化の促進</p> <p>日本看護協会へのデータ送信の本格開始 (3/8~) 都道府県看護協会会員名簿管理担当者会議 (9/22)</p> <p>(1)将来構想検討委員会の開催 1回 (4/19)</p> <p>(2)新公益法人移行認定申請 県担当部局に事前協議申し入れ (9/6) 事前協議に基づき補正 (修正) のうえ、本申請 (10/25)、補正、(12/26) 公益認定等審議会から認定基準に適合との答申。 千葉県知事から認定証の交付、4/1千葉地方法務局へ移行にかかる登記申請。</p> <p>(1)法人会員会 2回 (7/28・29、11/18) ブロック別法人会員会 (開催県) (10/11)</p> <p>(2)審議委員会</p> <p>(3)職能委員長会 全国職能職能委員長会 1回 (8/2、3/2) 地区別職能委員長会 1回 (10/12)</p> <p>(4)日本看護協会通常総会代議員選出 平成23年度日本看護協会通常総会代議員等研修会 (5/12) 代議員・予備代議員 42名出席 日本看護協会通常総会横浜 (6/6、7) 代議員26名出席 平成24年度日本看護協会通常総会代議員の推薦を 地区部会長に対して依頼 (4月) 5月千葉県看護協会通常総会において承認 (5/31)</p> <p>(5)各事業担当者会議 (事業ごとに標記)</p> <p>(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 各種審議会、協議会、意見交換会等への出席 51回</p> <p>(2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携調整 (会議を含む) 関係団体の会議及び打ち合わせ会議等への主席 49回</p> <p>(3)関係団体の行事等への協賛・後援等 34件 共催 千葉県がん患者大集合2011 (千葉県)、 在宅ケア研修会 (ヘルス財団) 等 後援 福祉のしごと就職フェアinちば (社会福祉協議会) 等</p> <p>(1)研修の実施 (職員個別に専門研修に参加)</p> <p>(2)健康診断 (10月~2月に順次実施、保健予防財団に委託)</p> <p>(1)会員増促進委員会 7回 (6/16、7/28、8/11、9/15、10/13、1/11、2/9)</p> <p>(2)推薦委員会 10回 (6/16、7/12、9/9、10/17、11/28、12/8、1/13、2/6、3/5、3/12)</p>
	政策・看護制度に関する事項	<p>1 看護関連政策への提言</p> <p>(1)県行政への要望</p> <p>(2)議会等への要望</p> <p>(3)日本看護協会を通じた国への要望・提言</p> <p>(4)日本看護協会の事業運営に関する要望・提言</p>

項目	実施計画	事業実施事項（平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略）
政策・看護制度に関する事項	<p>2 関係会議等への意見具申 (1)千葉県医療審議会等への参画 (2)千葉県保健医療計画、地域医療再生計画等への提言</p> <p>3 資格認定制度の推進 (1)専門看護師、認定看護師への支援 ①交流会の開催 ②登録者活用の推進 (2)専門看護師、認定看護師の資格取得の推進 (3)専門看護師、認定看護師の現状調査</p> <p>4 千葉県看護連盟との連携 (1)連絡会議 年3回 (2)合同研修会 年2回</p> <p>5 常任委員会（再掲）</p>	<p>(1)千葉県医療審議会 2回（5/10、12/22） (2)千葉県地域医療再生計画会議 4回（4/26、6/1、7/27、12/19）</p> <p>(1)専門看護師、認定看護師への支援 ①交流会の開催 日時：3月13日(火) 内容：認定看護師の現状調査の結果報告、グループワーク「院内において、認定看護師の存在がアピールできているか」 参加者：50名 ②登録者活用の推進 本協会主催の研修会の講師として39名を活用 (2)専門看護師、認定看護師の資格取得の推進 知事へ要望（病院に対して、認定看護師等の位置づけの明確化と処遇の改善への指導の強化） (3)認定看護師、在籍施設の看護管理者の現状調査 調査時期（H23/11） 認定看護師：回答数218名（74.2%） 看護管理者：回答数52名（75.4%） 調査結果：認定看護師は現在果たしている役割と看護管理者が期待する役割はほぼ一致（現任教育・指導、ケアの質向上）</p> <p>(1)連絡会議 3回（4/20、7/4、2/28） (2)合同研修会 2回（7/23、3/10） 看護制度委員会 6回（6/16、7/11、8/1、10/3、11/7、2/6）</p>
保健知識の普及啓発に関する事項	<p>1 「看護の日」「看護週間」事業 (1)第21回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】健康であるために看護の力を 【月 日】平成23年5月14日(土) ①中央行事 場所：京葉銀行文化プラザ 内容：千葉県看護功労者知事表彰式 看護体験記表彰・発表 講演、トークショー、健康相談等 ②地区部会行事 場所：12地区部会 内容：まちの保健室（健康相談）等 ③実行委員会の開催 (2)「看護週間」における看護の普及啓発（再掲：看護職の確保定着） ①出前授業 ②ふれあい看護体験事業</p> <p>2 「まちの保健室」事業 (1)常設型の充実（地区部会・協会）</p>	<p>(1)第21回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】健康であるために看護の力を 【月 日】平成23年5月14日(土) ①中央行事 場 所：京葉銀行文化プラザ 内 容：千葉県看護功労者知事表彰式 表彰者20名 看護体験記入賞作品表彰・優秀作品発表 ・応募総数 4部門 108作品 優秀賞4作品 佳作5作品 ・看護体験記は、冊子として600冊印刷 県内高等学校へ配布 ・トークショー「やめられますか たばこ!!」 タレント 見栄晴 奈良女子大学教授 高橋裕子 ・特別講演：「たばこ被害 あなたは大丈夫!？」 奈良女子大学教授 高橋裕子 参加者：466名 健康相談者：98名（再掲） 国産助産師の日参加者：113名（再掲）</p> <p>②地区部会行事 日 時：5月14日(土) 場 所：12地区部会が決定した場所 内 容：まちの保健室（健康相談、ハイチエカー等） 参加者：延 6,246名 ③実行委員会の開催 3回（6/23、10/20、1/19）</p> <p>(1)常設型の充実 地区部会主催：12地区15カ所で開催回数123回 参加者延数5,447名 会場：①千葉：アリオモール蘇我、②市原：カインズホーム市原、③船橋：イオン津田沼店、 ④市川：中央図書館、⑤松戸：イトーヨーカドー松戸店、⑥東葛：道の駅しょうなん、 ⑦印旛：ボンベルタ成田、⑧利根：ふれあいパーク八日市場、⑨山武：東金サンビエ、 ⑩長夷：茂原アスモ、⑪君津：木更津イオン、⑫安房：イオン鴨川店 協会主催（千葉三越）：ミニ講話（相談）9回86名（5月、6月、7月、8月、10月、11月、1月、2月、3月） 毎月テーマを決めてミニ講話と健康相談を実施、1か月前より案内チラシ・ポスターを三越の館内に掲示</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
保健知識の普及啓発に関する事項	<p>(2)イベント型</p> <p>①地域の健康まつりや健康フェア等における健康相談の実施</p> <p>②地域の健康まつりや健康フェア等への協力</p> <p>3 自殺予防対策事業</p> <p>(1)心の総合相談窓口の充実</p> <p>(2)研修会の開催 (再掲：看護職の資質の向上)</p> <p>①「一般外来におけるうつ病の早期発見と対応のポイント」</p> <p>②「うつ傾向にある患者への関わり方」</p> <p>4 たばこ対策事業</p> <p>(1)禁煙のための相談支援</p> <p>(2)看護学校への禁煙教育の推進</p> <p>①看護学校への指導者派遣</p> <p>②看護学校におけるモデル事業の拡大</p> <p>(3)禁煙指導者の育成 (再掲：看護職の資質の向上)</p> <p>(4)たばこによる健康被害の普及啓発</p> <p>①フレッシュナースに対するたばこ対策の周知</p> <p>②モデル事業を通して住民への普及啓発 (再掲)</p> <p>③世界禁煙デー (5月31日)</p> <p>・禁煙週間におけるキャンペーン</p>	<p>(1)心の総合相談窓口の充実</p> <p>相談日：月・水・金 13:00～16:00</p> <p>相談件数：132件</p> <p>相談内容：メンタルヘルス、職場・近所の人間関係、家族関係、労働環境等</p> <p>広報：千葉県相談窓口一覧冊子への掲載、ホームページリニューアル、イベント時チラシ配布、携帯式カード広告の配布 (県内医療機関、公的機関、関連企業等へ配布)</p> <p>(1)禁煙のための相談支援：新人看護職員への県内禁煙外来の紹介や禁煙サポートとしての禁煙マラソン等を紹介</p> <p>(2)看護学校への禁煙教育の推進</p> <p>①看護学校への指導者派遣</p> <p>派遣先：8校 (県立鶴舞看護専門学校、川鉄千葉病院看護専門学校、千葉市青葉看護専門学校、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、成田赤十字看護専門学校、千葉大学、県立保健医療大学、淑徳大学) (県立野田看護専門学校は、看護の日の講演を代用)</p> <p>参加者総数：791名</p> <p>講師：日本禁煙科学会理事 三浦 秀史</p> <p>「禁煙は将来の自分へのプレゼント ～社会がたばこを吸わない皆さんを求めています～」</p> <p>②看護学校におけるモデル事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催 1回 (6/2, 2/1) ・モデル事業 (看護学生による健康教育) <p>事業説明会 (6/13) 13校</p> <p>参加校：7校 (県立野田看護専門学校、県立鶴舞看護専門学校、千葉市青葉看護専門学校、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、成田赤十字看護専門学校、県立保健医療大学、千葉大学)</p> <p>開催時期：9月/2校 10月/3校 11月/2校 12月/1校</p> <p>担当学生総数：92名、来場者総数：953名+α</p> <p>③看護学校に対するたばこの健康被害に対する意識調査</p> <p>対象：県内3年課程看護学校及び看護大学26校の1年生</p> <p>有効回答率：75.1% (有効回答数 1,403名)</p> <p>調査結果：喫煙率 2.5%35名 (喫煙経験者 14.0% 196名、現在非喫煙者 8.1% 114名、現在の喫煙に無回答者 3.3% 47名)</p> <p>禁煙開始時期は、高校生が53名 27.0%、看護学校入学後半年が16名 8.2%</p> <p>禁煙のきっかけは、興味本位、家族友人等周囲の影響が大きい</p> <p>(4)たばこによる健康被害の普及啓発</p> <p>①フレッシュナースに対するたばこ対策の周知</p> <p>対象：フレッシュセミナー受講者 982名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の実施：健康教育、禁煙外来の紹介 等 ・アンケート調査：回答率 97.6% <p>禁煙率 15.7%</p> <p>禁煙開始時期看護学生時代 38.1%</p> <p>③世界禁煙デー 5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙週間におけるキャンペーン：ポスターの掲示

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
保健知識の普及啓発に関する事項	<p>5 千葉県小児救急電話相談事業</p> <p>(1)相談員の登録管理</p> <p>(2)相談員の勤務調整</p> <p>(3)相談員の研修会の開催 年2回</p> <p>(4)小児救急電話相談事業協議会へ出席 年2回</p> <p>6 看護ボランティア事業</p> <p>(1)看護ボランティアの普及</p> <p>①看護ボランティアの登録促進と管理</p> <p>②看護ボランティアマニュアルの普及</p> <p>7 関係機関・他団体への協力</p> <p>(1)研修会等への講師派遣や紹介</p> <p>(2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p> <p>(3)ホームページ等による広報</p>	<p>(1)相談員の登録管理</p> <p>相談日：365日 19：00～22：00 看護師3名（土・日・祝日 4名） 後方支援医師1名 登録相談員数：25名（新規採用5名） 相談件数：19,035件（99.95% 看護師の相談のみで解決）</p> <p>(2)相談員の勤務調整</p> <p>3ヶ月毎に勤務表作成・調整</p> <p>(3)相談員の研修会の開催</p> <p>①第1回目</p> <p>日時：9月17日(土) 場所：千葉県医師会会議室 内容：講演Ⅰ「小児への放射線の影響について」 講師（独）放射線医学総合研究所放射線防護研究センター 発達期被ばく影響研究プログラムリーダー 島田義也 講演Ⅱ「腹部打撲について」 講師：千葉大学大学院医学研究院 小児外科学 助教 光永哲也 事例検討会 参加者：40名（うち相談員22名）</p> <p>②第2回目</p> <p>日時：3月8日(土) 場所：千葉県ナースセンター2階会議室 内容：研修会参加報告 講演Ⅰ「小児救急ホームケア」 講師 社会福祉法人賛育会 賛育会病院 小児科 小松充孝 講演Ⅱ「小児の頭部打撲」～症状と受診の目安～ 講師 東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 本田 隆文</p> <p>・問題情報の事後報告 ・小児救急電話相談事業報告 参加者：29名（うち相談員23名）</p> <p>③新採相談員研修 3回（5/28、9/24、11/8）</p> <p>(4)小児救急電話相談事業協議会へ出席 2回（12/2、3/22）</p> <p>(1)看護ボランティアの普及</p> <p>平成15年度から開始、8年間で434件 本年度から見直し有償ボランティアを基本とし、ナースセンターへの登録を普及促進している。</p> <p>(1)研修会等への講師派遣や紹介 千葉県生涯大学校へ講師派遣 12名 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣 がん予防展等 9回</p> <p>(3)ホームページ等による広報 関係団体からの依頼された事業（研修）はホームページに掲載又はポスターの掲示</p>
	看護職の資質の向上に関する事項	<p>1 生涯教育</p> <p>(1)58コース 83回 定員9,600名</p> <p>(2)資格修得教育</p> <p>①認定看護管理者制度教育課程（ファースト・セカンド）</p> <p>③医療安全管理者養成研修</p> <p>④糖尿病重症化予防研修（フットケア）</p> <p>⑤特定健診特定保健指導実践者育成研修</p> <p>⑥⑦心肺蘇生法トレーニングコース（BLS・ACLS）</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
看護職の資質の向上に関する事項	(3)ステップアップ教育 ①段階別研修 (新人、2年目、指導者等) ②領域別研修 (感染 災害 がん、認知症等)	(3)ステップアップ教育 21コース 40回 103日 4,921名 ①段階別研修 (新人、2年目、指導者等) 14コース 32回 70日 4,052名 ②領域別研修 (感染 災害 がん、認知症等) 7コース 8回 33日 869名
	(4)看護実践教育 ①母性 小児 成人 老年等 ②地域連携 外来 看護研究 公衆衛生看護等	(4)看護実践教育 30コース 36回 66日 3,831名 ①母性 小児 成人 老年等 20コース 26回 42日 3,176名 ②地域連携 外来 看護研究 公衆衛生看護等 9コース 9回 23日 585名 ③インターネット配信研修 働き続けられる職場づくり 1コース 1回 1日 70名
	(5)千葉県委託研修 (再掲) ①新人看護職員研修 ②新人助産師研修 ③新人看護職員教育担当者育成研修 ④中堅看護職のスキルアップ研修 ・感染管理研修 (基礎・実践) ・がん看護研修 (1・2・3) ・認知症看護指導者育成研修 ⑤自殺予防対策研修 ・「一般外来におけるうつ早期発見」 ・「うつ傾向にある患者のカウンセリング法」 ⑥助産外来開設講座 (6)その他	(5)千葉県委託研修 (再掲) 9コース 9回 51日 701名 ①新人看護職員研修 1コース 1回 15日 24名 単日受講 延 17名 ②新人助産師研修 1コース 単日受講 3日 延 60名(実26) ③新人看護職員教育担当者育成研修 1コース 1回 5日 63名 ④中堅看護職のスキルアップ研修 ・感染管理研修 (基礎・実践) 1コース 2回 10日 217名 ・がん看護研修 (1・2・3) 1コース 1回 6日 116名 ・認知症看護指導者育成研修 1コース 1回 5日 68名 ⑤自殺予防対策研修 ・「一般外来におけるうつ早期発見」 1コース 1回 2日 62名 ・「うつ傾向にある患者の関わり方」 1コース 1回 2日 106名 ⑥助産外来開設講座 1コース 1回 3日 19名 (6)その他 2コース 2回 2日 331名 ①看護必要度評価者 院内指導者研修 1コース 1回 1日 164名 ②平成24年度社会保険診療報酬改定説明会 1コース 1回 1日 167名
	2 千葉県看護研究学会の充実 (1)第30回千葉県看護研究学会の開催	(1)第30回千葉県看護研究学会の開催 日時：平成24年2月3日(金) 10:00~16:00 会場：千葉市民会館 発表演題：口演33題 示説9題 合計42演題 参加者：合計 540名 (うち市民公開講座 162名) 特別講演 (市民公開講座)：「いのちに向き合い人を支える」 野の花診療所 院長 徳永 進 最優秀演題 1題 (平成24年度6月通常総会で表彰予定)
	(2)看護研究への取組み支援 (再掲) ①はじめて取組む看護研究研修会 ②研究発表者への個別支援	(2)看護研究への取組み支援 (再掲) ①はじめて取組む看護研究研修会 基礎編 166名 活用編 43名 上記看護職の資質向上に関する事項 1-(4)-②参照 ②研究発表者への個別支援 5グループ 3/5 発表会
	3 第42回日本看護学会～看護総合～ 学術集会の開催 (1)日時：平成23年9月8・9日 場所：シェラトン・グランデ・トーキョー・ベイ・ホテル テーマ：「未来につながる あなたの看護 ～看護の魅力再発見～」 (2)実行委員会の開催	(1)第42回日本看護学会～看護総合～学術集会の開催 日時：平成23年9月8、9日 参加者数 延 3,166名 場所：シェラトン・グランデ・トーキョー・ベイ・ホテル テーマ：「未来につながる あなたの看護～看護の魅力再発見～」 内容：特別講演Ⅰ・Ⅱ、シンポジウム、セミナー、市民公開講座 研究発表 (口演 180題、示説 186題) (2)実行委員会の開催 4回 (5/25、6/30、8/23、9/30)
	4 図書室の管理運営 (1)図書の充実 (2)ホームページからの情報提供 (3)文献検索の個別支援	(1)図書の充実 購入図書 34冊 寄贈図書 103冊 合計 137冊 購入雑誌 29誌 寄贈雑誌 11誌 合計 40誌 蔵書総数 (約6,100冊) (2)ホームページからの情報提供 関係機関等からの情報をホームページに掲載 図書室専用ページへのアクセス件数 2011.4~2012.3 3,831件 (3)文献検索の個別支援 文献検索等相談件数 42件
	5 常任委員会 (再掲) (1)常任委員会 (2)特別委員会	(1)常任委員会 ①教育委員会 6回 (6/16、7/5、9/6、11/1、12/6、2/7) ②看護研究学会委員会 6回 (6/16、7/7、9/15、11/17、1/20、2/7) (2)特別委員会 ①認定看護管理者制度教育課程運営委員会 3回 (7/12、9/16、2/21)

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
看護職の確保定着に関する事項	<p>1 第2次看護職確保・定着推進計画の普及・推進</p> <p>(1)第2次看護職確保・定着推進計画の推進</p> <p>(2)看護職確保定着対策協議会の開催 年1回</p> <p>(3)看護職確保定着対策事業の普及啓発</p> <p>①新人看護職員研修事業の推進</p> <p>②「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>③施設等会員代表者会等協会事業を通じた普及</p> <p>④就業協力員との連携</p> <p>⑤関係団体・関係機関への協力要請</p> <p>2 看護職の職場環境の向上</p> <p>(1)ワーク・ライフ・バランスの普及啓発</p> <p>①WLB推進ワークショップの開催</p> <p>(2)多様な勤務形態導入支援事業 (千葉県委託)</p> <p>①就業環境改善相談事業</p> <p>②アドバイザー派遣事業</p> <p>③多様な勤務形態導入研修事業</p> <p>(3)SUPPORT BOOKの普及</p> <p>(4)労働環境に対する相談支援</p> <p>3 看護学生の職場選択の支援</p> <p>(1)合同就職説明会</p> <p>4 看護進路相談事業</p> <p>(1)出前授業 (いのちの大切さ教育)</p> <p>①県内小・中・高校への出前授業</p> <p>(2)ふれあい看護体験事業</p> <p>①県内中・高校生等を対象に看護体験の実施</p> <p>②職業選択への支援</p> <p>(3)進路相談事業</p> <p>①高校生を対象に看護学校への進学支援</p> <p>②インターンシップの推進</p> <p>③進路担当教諭への連携</p>	<p>(1)第2次看護職確保・定着推進計画の推進</p> <p>(2)看護職確保定着対策協議会の開催 1回 (3/6)</p> <p>(3)看護職確保定着対策事業の普及啓発</p> <p>②「看護ちば」、ホームページへの掲載</p> <p>(1)ワーク・ライフ・バランスの普及啓発</p> <p>①WLB推進ワークショップの開催 (日本看護協会の補助事業)</p> <p>WLB推進部会の開催 7回 (6/10、8/18、8/30、9/29、10/7、2/2、3/21)</p> <p>ワークショップの開催</p> <p>開催日：(10/6、7)</p> <p>参加者：79名 (参加5病院、推進部会委員、日看協委員、傍聴者)</p> <p>内容：各施設のワーク・ライフ・バランスの推進に係る課題抽出、アクションプラン案の策定等</p> <p>フォローアップの開催</p> <p>開催日：(2/7)</p> <p>参加者：80名 (参加5病院、推進部会委員、日看協委員、傍聴者)</p> <p>内容：5施設におけるワーク・ライフ・バランスの進捗状況報告、平成24年度の課題等</p> <p>(2)多様な勤務形態導入支援事業 (千葉県委託)</p> <p>①就業環境改善相談事業</p> <p>開始時期：7月 週2回 (火・木) 10:00～15:00</p> <p>相談対応者：ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー</p> <p>相談件数：70件 (短時間正職員制度の導入、業務改善、就業規則の改正等)</p> <p>②アドバイザー派遣事業15回 (ワークショップ参加施設への助言、院内検討会での助言等)</p> <p>③多様な勤務形態導入研修事業15回 (セカンドレベル研修会、施設等会員代表会、看護師長対象研修会、院内全体研修会)</p> <p>(4)労働環境に対する相談支援</p> <p>(1)合同就職説明会 (看護フェスティバル)</p> <p>日時・会場：5月15日 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張</p> <p>参加者：就職説明会参加施設 65施設 看護学生等 179名</p> <p>(2)ふれあい看護体験事業 (受け入れ 80)</p> <p>①県内中・高校生等を対象に看護体験の実施 参加施設59施設 参加者429名</p> <p>②職業選択への支援 ホームページによる情報提供</p> <p>(3)進路相談事業</p> <p>①高校生を対象に看護学校への進学支援</p> <p>出前授業(相談)：6校、644名 (中学校1校20名、高校5校624名)</p> <p>電話等による進路相談 133件</p> <p>③進路担当教諭への連携</p> <p>安房地区部会活動：高校の進路担当教諭を対象にした看護への理解を得るための研修会の開催 (8/6)</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
看護職の確保定着に関する事項	<p>5 ナースセンター事業 (千葉県委託)</p> <p>(1)看護職の確保定着に係る実態調査</p> <p>(2)職業紹介 ①NCCSの登録及び職業紹介</p> <p>②公共職業紹介所、福祉人材センターとの連携</p> <p>(3)未就業看護職の就業支援 ①看護職再就業講習会 ②看護職への求人情報の提供 ・求人情報誌の発行 ・就業に関わる図書等の資料紹介</p> <p>③未就業看護職の掘り起こし ・県民だより、ホームページ等による広報 ・市町村広報誌、地域新聞、交通機関等による広報</p> <p>④合同就職説明会 (再掲)</p> <p>(4)看護師等就業協力員部会の開催 年2回</p> <p>(5)ナースセンター運営委員会</p> <p>(6)ナースセンター事業の広報</p> <p>(7)日本看護協会、中央ナースセンターとの連携 ①日本看護協会担当者会議 ②中央ナースセンター研修会</p> <p>(8)就労看護師への相談支援</p> <p>(9)「看護の日」「看護週間」事業 (再掲：保健知識の普及啓発)</p> <p>(10)看護進路相談事業 (再掲)</p> <p>6 常任委員会 (再掲)</p>	<p>(1)看護職の確保定着に係る実態調査 調査時期：未就業求職者 (H23.8、9)、看護管理者 (H23.8、9)、 新人看護職 (H23.10) ※協会研修受講者 回収結果：未就業求職者67名 (43.5%)、看護管理者170病院 (60.7%)、 新人看護職605名 (87.7%) ※協会研修受講者 全常勤看護職の離職率11.2 (昨年度12.1) 全常勤新人看護職の離職率8.8 (昨年度8.4) 離職理由：結婚・出産・育児による理由の減、健康上の理由が若干増、人間関係による理由は変わらない 新人看護職でこれまでに辞めたいと思ったことがある割合66.8% (昨年度70.8%)</p> <p>(2)職業紹介 ①NCCSの登録及び職業紹介 新規求職者数 1,139名 (うち未就業者448名) 新規求人数 1,218名 就業者数 398名 (うち未就業者124名) 紹介件数 287名 求人相談 2,631名 求職相談 4,641名</p> <p>②公共職業紹介所、福祉人材センターとの連携 「福祉の仕事 就職フェアinちば」(7/16、10/15) 看護に関する相談者 6名</p> <p>(3)未就業看護職の就業支援 ①看護職再就業講習会 7名 ②看護職への求人情報の提供 ・求人情報誌の発行 年4回 (5月、8月、11月、2月) 310名へ送付 ・その他ハローワークやナースセンターの窓口に設置</p> <p>③未就業看護職の掘り起こし ・県民だより、幼稚園・保育園、スーパー、銀行にポスターの掲示、協会ホームページ等による広報 ・市町村広報誌等による広報 千葉市民便利帳に掲載 (4月)</p> <p>(4)看護師等就業協力員部会の開催 2回 (6/23、10/20)</p> <p>(5)ナースセンター運営委員会 1回 (7/12)</p> <p>(6)ナースセンター事業の広報 京葉銀行・ヤックスの店頭に掲示 研修会受講生に有料職業紹介所の仕組みを広報 (7月～)</p> <p>①日本看護協会担当者会議 1回 (2/29) ②都道府県ナースセンター就業相談者研修 (4/30、31)</p> <p>(8)就労看護師への相談支援 面接相談406名 電話相談416名</p> <p>6 社会経済福祉委員会 6回 (6/16、7/17、9/12、11/14、12/12、2/13)</p>
医療・看護安全対策の推進に関する事項	<p>1 医療・看護安全に関する相談支援 (1)会員 (施設) への相談支援 (2)医療事故報告施設への支援 (3)ホームページや看護ちば等による情報提供</p> <p>2 医療安全推進週間の推進 (1)第7回「医療安全大会」の開催 ①日時：11月6日 (日) ②場所：千葉市内</p>	<p>(1)会員 (施設) への相談支援</p> <p>(1)第7回「医療安全大会」の開催 ①日時：11月6日 (日) ②場所：アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 ③内容：特別講演「低リスク医療システムの実現に向けて」 講師：自治医科大学医学部 メディカルシミュレーションセンター センター長 医療安全学教授 河野龍太郎 シンポジウム『他職種連携で防げるヒューマンエラー』</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
医療・看護安全対策の推進に関する事項	<p>(2)標語の募集、普及啓発</p> <p>3 医療安全管理者の育成</p> <p>(1)医療安全管理者養成研修の開催 (再掲：看護職の資質の向上)</p> <p>(2)医療安全担当者の交流会の開催</p> <p>4 関係機関等との連携促進</p> <p>(1)日本看護協会、関東甲信越地区看護協会等との連携</p> <p>(2)千葉県、市町村や関係団体等との連携</p> <p>(3)医療安全全国共同行動への協力</p> <p>5 常任委員会 (再掲)</p>	<p>座長：自治医科大学医学部 メディカルシミュレーションセンター センター長 医療安全学教授 河野龍太郎</p> <p>シンポジスト：医師 (医)鉄蕉会 亀田総合病院 夏目隆史 薬剤師 (社医)千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院 小峰千鶴 看護師 (独法)労働者健康福祉機構 千葉労災病院 高澤弘美 放射線技師 (医)カンクロ カンクロクリニック 森 信二</p> <p>医療機器の展示 16社</p> <p>④参加者：500名</p> <p>(2)標語の募集、応募数287作品 (施設数49)</p> <p>優秀作品「安全は基本を守る職場から」 東邦大学医療センター佐倉病院 諸橋幸枝</p> <p>佳作作品「声出そう エラーを防ぐ チームの輪」 (社医)木下会 千葉西総合病院 4階西病棟1年目7人</p> <p>「安全は まず身の周りの整理から」 (医社)創進会 みつわ台総合病院 西3病棟</p> <p>優秀作品をポスターにして作成、医療機関に配布</p> <p>(2)医療安全担当者の交流会の開催</p> <p>第1回目 日時：10月18日(火) 参加者：73名 内容：講演「医療安全施策の動向と医療安全支援センターに寄せられた相談・苦情から患者の声を聴く」 講師：千葉県健康福祉部医療整備課 一松明美 「法による医療のリスクマネジメント ～危機管理における対応について～」 講師：千葉県看護協会顧問弁護士 山下洋一郎 グループワーク「公表されている共通事例について」 助言者：元日本看護協会事業開発部チーフマネージャー 野村病院 看護部長 佐々木久美子</p> <p>第2回目 日時：1月27日(金) 参加者：52名 内容：課題と今後の取り組みについてグループワーク 及び 発表 ファシリテーター 医療安全推進担当理事 齊藤セツ子 医療安全推進委員 助言者 元日本看護協会事業開発部チーフマネージャー 野村病院 看護部長 佐々木久美子</p> <p>(1)日本看護協会との連携 拡大医療安全推進会議 (7/14)</p> <p>(2)千葉市保健所運営協議会 (H24.2/6) 医療安全相談窓口運営部会</p> <p>(3)「医療安全全国フォーラム2011」の参加 (11/18) 医療安全推進委員会7回 (6/16、7/20、8/11、9/6、10/13、12/8、2/9)</p>
災害救護支援に関する事項	<p>1 災害時の支援ネットワークの強化</p> <p>(1)千葉県看護協会災害対策本部の設置 設置基準：震度5強以上の地震 支援が必要と予測される災害</p> <p>(2)災害時における日本看護協会及び各都道府県看護協会との連携</p> <p>①有事の際の協働</p> <p>②日本看護協会主催の防災訓練参加</p> <p>(3)災害時における千葉県・市町村との連携</p> <p>①九都県市合同防災訓練</p> <p>②船橋市防災訓練</p> <p>③佐倉市避難所訓練</p>	<p>(1)千葉県看護協会災害対策本部の設置 (平成23年3月11日～5月9日) 東日本大震災義援金 (9月末17,709,119円 日本赤十字社千葉県支部に寄託)</p> <p>(2)災害時における日本看護協会及び各都道府県看護協会との連携</p> <p>①有事の際の協働 東日本大震災における岩手県・宮城県・福島県への災害支援ナースの派遣</p> <p>②日本看護協会主催の防災訓練 (中止)</p> <p>(3)災害時における千葉県・市町村との連携</p> <p>①九都県市合同防災訓練 (千葉県会場中止、千葉市会場 8/28)</p> <p>②船橋市防災訓練 (8/28)</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事項については記載を省略)
災害救護支援に関する事項	<p>(4)協会(地区部会)と災害拠点病院の連携</p> <p>2 災害に備えた支援体制の整備</p> <p>(1)災害支援ナースの登録促進と管理</p> <p>(2)災害支援ナースの派遣調整</p> <p>(3)千葉県看護協会災害マニュアルの普及</p> <p>(4)防災用具・救急物品の備蓄、点検・補充</p> <p>3 災害支援ナースの育成</p> <p>(1)災害看護(基礎編・実践編) (再掲:看護職の資質の向上)</p> <p>(2)災害支援ナースの交流会 年1回</p>	<p>(1)災害支援ナースの登録促進と管理 登録者数、3月末 286名 (52施設 個人17)</p> <p>(2)災害支援ナースの派遣調整 東日本大震災における災害支援ナースの派遣:53名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県との協定に基づいた派遣 旭市:18名 (3/24~4/14) ・日本看護協会からの要請により派遣 第一段階(岩手県・宮城県・福島県):27名 (3/31~4/30) 第二段階(福島県) : 8名 (5/1~5/13) <p>(3)災害支援ナース派遣マニュアル改訂中</p> <p>(4)防災用具・救急物品の備蓄、点検・補充 災害支援ナース備品30セット分</p> <p>(2)災害支援ナースの交流会 東日本大震災における災害支援ナース報告会 日時:8月17日(水) 場所:千葉市生涯学習センター 参加者:災害支援ナース29名 内容:グループワーク(災害支援活動のあり方、活動報告書等) 看護ちば7月号、トピックス研修(8/17)にて東日本大震災における災害支援ナースの活動報告</p> <p>◎地域における高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業(千葉県委託事業) 東日本大震災の被災地(香取市・旭市)における援護を必要とする高齢者等の支援に当たる者の助言指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置準備会議 6回(6/24、7/8、7/11、7/14、9/7、9/21) ・事業打合会議 6回(11/11、11/28、12/1、12/26、1/11、2/8) ・旭市における被災者支援連絡会 7回(9/26、10/31、11/28、12/19、1/30、2/27、3/19) <p>(1)見守り支援アドバイザー活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者への支援-80件 住民個人への支援-48件 同行訪問-21件 ・事例検討会 月 日:平成24年1月27日(金) 15:30~17:00 会 場:旭市保健センター テーマ:「今までの活動を通じた現状と課題」 対象者:旭市の保健師、ロザリオの聖母会生活支援アドバイザー等 助言者:千葉大学大学院看護学研究科地域看護学教育研究分野 教授 宮崎美砂子 氏 参加者:15名 <p>(2)研修会 月 日:平成24年3月16日(金) 14:00~16:15 会 場:旭中央病院 じおさいホール テーマ:「災害時における支援者の役割について」 ~円滑な支援活動を行うための地域との連携のあり方とは~ 対象者:看護職、福祉職、事務職等 講 師:NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長 日本災害看護学会理事 黒田裕子 氏 参加者:112名</p> <p>(3)実態調査 月 日:平成24年3月3日(土) 9:00~17:00、3月4日(日) 9:00~16:00 場 所:旭市飯岡・行内・平松・横根・萩園(旧飯岡町)の一部地域 【本部】飯岡保健センター 調査員:2日間延べ118名 調査結果:対象世帯918のうち、655世帯(71.4%)から聞き取り *対象地区への区長への説明(2/22)、関係各所への説明会(2/27、2/29)</p> <p>(4)地域における高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業委員会:1回(1/27) 場 所:旭市保健センター 出席者:委員9名、オブザーバー2名、事務局4名</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
広報に関する事項	<p>1 機関誌「看護ちば」の発行 (1)年6回発行 ①通常号：4、7、10、1月号 ②総会特集：5、2月号 (2)配布先の拡大 ①未加入施設 ②関係機関・関係団体</p> <p>2 ホームページの充実 (1)会員への迅速な情報提供 (2)協会ホームページの全面リニューアル (3)問合せフォームの暗号化 (4)県民に対する健康情報の提供 (5)未加入者に対する広報</p> <p>3 千葉県看護協会の広報 (1)入会促進用パンフレット等の作成 (再掲：組織・運営) (2)未加入者への広報 (再掲) ①看護学校、新人研修会等における 広報 (3)関連事業や他団体行事等における広報 (4)事業を通じたポスター・リーフレット (再掲)</p> <p>4 常任委員会 (再掲)</p>	<p>(1)「看護ちば」発行 ①4月号(4/20発行)、7月号(7/1発行)、10月号(10/1発行)、1月号(1/1発行) 配布先：会員及び行政・関係団体等、配布数24,000部/1回 ②5月通常総会号(4/27、2/17)発行配布数22,500部 配布先：会員 (2)配布先の拡大 ①未加入施設 未加入病院への配布、会員施設における未加入者への閲覧用の配布 ②関係機関・関係団体 97か所 ③県内市町村へ配布 (窓口での配布用) ④退職した看護職への情報提供として「看護ちば」を送付 (44件)</p> <p>(1)会員への迅速な情報提供 (アクセス数292,182) (2)協会ホームページの全面リニューアル 更新日：9月 特徴：閲覧者にわかりやすい言葉や文章で表記、グローバルナビゲーション毎に様式を統一 「看護職・会員・県民の皆様へ」は発信メッセージをいれたチラシ形式 担当課が最新の情報を簡略化した形式で変更できるシステム</p> <p>(3)問合せフォームの暗号化 (1/16) (4)県民に対する健康情報の提供 (5)未加入者に対する広報</p> <p>①野田看護専門学校説明会 (3/6) 船橋看護専門学校協会見学 (3/5)</p> <p>広報出版委員会 6回 (6/16、7/20、8/3、9/7、12/7、2/1)</p>
訪問看護の推進に関する事項	<p>1 訪問看護推進事業 (千葉県委託) (1)千葉県訪問看護推進協議会 年2回 (2)実態調査 (3)訪問看護に関する研修会 ①退院支援研修 (再掲) ②訪問看護師養成研修 (eラーニング)</p>	<p>(1)千葉県訪問看護推進協議会2回 (7/7、3/14) (2)実態調査 調査対象：千葉県内訪問看護ステーション 204施設 (回収132件64%) 千葉県内病院 282施設 (回収156件55%) 調査期間：平成12月10日～12月20日 調査結果： <訪問看護ステーション> ・千葉県の訪問看護ステーションの規模は常勤3.6名で、事務職は常勤非常勤を含めて45.5%の施設に在籍。 ・病院と在宅移行期の連携では、訪問看護ステーションは、93.9%が困っていた。 <病院> ・退院調整部門がある施設は74施設47.4%であり、そのうち退院支援ナースが在籍するのは、31施設41.9%であった。 ・訪問看護ステーションとの連携では、76施設48.7%が困っていた。</p> <p>(3)訪問看護に関する研修会 ①退院支援研修会 参加加者 50名 研修期間 4日間 講義 (7/23、7/30、9/15)、実習1日 (8月) 内 容 在宅医療の現状と訪問看護の役割、退院支援に必要な制度と社会資源の活用方法 退院調整カンファレンスの仕方と退院支援について等 ②訪問看護師養成研修 (eラーニング) 研修期間：8/1～2/24 受講者：15名 講義内容：講義 (eラーニング165時間)、実習 (2日間)、集合研修 (4回) 閉講式：2/24 修了者 12名</p>

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
訪問看護の推進に関する事項	<p>(4)訪問看護に関する総合相談</p> <p>(5)地域連携フォーラム</p> <p>2 訪問看護支援事業</p> <p>(1)訪問看護請求事務等ネットワークセンターの運営</p> <p>(2)訪問看護請求事務等ネットワークセンターの普及</p> <p>3 訪問看護サービスの普及</p> <p>(1)医療機関、関係団体等へのリーフレットの配布</p> <p>(2)各種行事における広報</p> <p>4 日本看護協会・都道府県看護協会との連携</p> <p>5 関係機関との連携</p> <p>(1)関係機関との連携</p> <p>①訪問看護ステーション連絡協議会</p> <p>②訪問診療医師 (医師会等)</p> <p>③介護保険関係団体</p> <p>(2)サテライトの設置促進</p> <p>(3)千葉県ALS協会等患者会への支援</p> <p>①吸引講習会等への支援</p> <p>②関連事業、交流会への参加</p> <p>6 常任委員会 (再掲)</p>	<p>(4)訪問看護に関する総合相談</p> <p>相談日：火・木 9：00～12：00</p> <p>相談件数：44件</p> <p>内容：訪問看護の制度と対象、訪問看護サービス内容、ステーション開設の手順等</p> <p>(5)地域連携フォーラム</p> <p>テーマ 「その人らしい在宅療養を支援するために ー在宅移行期における円滑な他職種連携ー」</p> <p>日時：12月3日(土)</p> <p>会場：千葉県看護会館</p> <p>参加人数：204名</p> <p>内容：講演 テーマ「平成24年度医療保険・介護保険制度改正と報酬改定 の方向」 講師 公益初段法人日本看護協会 政策企画室調査研究係 堀川尚子</p> <p>シンポジウム「在宅移行期における円滑な他職種連携」 座長：順天堂大学医療看護学部 大学院医療看護研究科先任准教授 樋口キエ子</p> <p>シンポジスト 千葉県医師会理事 三枝奈芳紀 千葉県薬剤師会副会長 眞鍋 知史 柏市立柏病院地域連携室 虻川 良子 千葉県介護支援専門員協議会理事長 水野谷 繁 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会会長 権平くみ子 医療法人福生会斉藤労災病院 鈴木 睦美 看護協会ちば訪問看護ステーション 畑 澄代</p> <p>(1)訪問看護サポートセンターちばの設置・運営</p> <p>参加数：訪問看護ステーション3ヶ所</p> <p>業務内容：請求事務、IT化推進のサポート等</p> <p>(2)訪問看護サポートセンターちばの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護ちば4月・10月に事業案内掲載 ・訪問看護ステーション開設予定事業所26ヶ所に事業内容の説明 ・新設訪問看護ステーション9ヶ所に看護ちば4月号 (業務案内掲載) の配布 ・訪問看護研修会 (看護管理者セミナー) で事業説明 <p>(1)医療機関、関係団体等へのリーフレットの配布</p> <p>「マイナースとつくる安全で安心な在宅生活」(利用者向け)</p> <p>：民生委員・介護支援事業所等に2,000部配布</p> <p>「訪問看護利用の手引」(専門職向け)</p> <p>：介護支援専門員・訪問看護ステーション等関係機関に2,850部配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの改訂 (平成24年度介護保険と医療保険の報酬改定により) <p>(2)各種行事における広報 がん患者大集合等において広報</p> <p>(1)関係機関との連携</p> <p>①訪問看護ステーション連絡協議会 合同会議開催 2回 (7/22、2/20)</p> <p>③介護保険関係団体</p> <p>(3)千葉県ALS協会等患者会への支援</p> <p>①吸引講習会等への支援</p> <p>千葉県介護福祉士会・在宅部会・施設部会合同研修会に講師派遣 (12/11)</p> <p>参加者：93名</p> <p>訪問看護委員会 6回 (6/16、7/21、9/6、10/25、11/15、1/12)</p>
	職能に関する事項	<p>1 職能委員会</p> <p>(1)保健師業務に関わる検討</p> <p>(2)助産師業務に関わる検討</p>

項目	実施計画	事業実施事項（平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略）
職能に関する事項	(3)看護師業務に関わる検討 ・チーム医療の推進 (4)三職能共通事項に関わる検討 2 職能集会 (1)各職能別集会 3 職能交流会 (1)各職能交流会 ・准看護師の進学支援	(3)看護師業務に関わる検討 毎月1回委員会開催 (4)三職能合同委員会 1回 (1/12) (1)各職能別集会 保健師職能集会 (8/11) 保健師人材育成推進検討会 2回 (9/2、2/28) 助産師職能集会 (7/14) 看護師職集会 (7/9) (1)各職能交流会 保健師職能ファシリテーター研修会 (11/7)、 保健指導ミーティング (12/12) 産科看護管理者交流会 (10/27)、中堅助産師交流会 (12/8) 看護師職能交流会 (2/18) 准看護師交流会 (8/20)
地区部会に関する事項	1 会議・研修会の開催 (1)役員会 年5回以上 (2)施設連絡会 年2回以上 (3)教育研修 年3回 2 看護職確保定着対策の推進 (1)就業協力員活動（再掲） ①看護師等就業協力員部会 年2回 ②連絡会等における情報交換 ③未就業者への支援 3 会員増の促進（再掲） (1)未加入者への入会促進 4 地域住民に対する健康相談・教育 （再掲：保健知識の普及啓発） (1)「看護の日」「看護週間」事業 (2)「まちの保健室」事業 5 地区部会事業・先駆的事業 (1)地区部会における課題を解決するための事業 (2)協会事業のモデル地区としての事業 6 地域ネットワークづくりの推進 (1)各地区の市町村及び関係機関との連携 ①地区で開催される事業への協力 ②地域性を活かした行事への積極的な参加 (2)地域保健医療政策への提言 (3)三職能・各委員会事業との連携	(1)役員会 12地区部会 94回開催 (2)施設連絡会 12地区部会 27回開催 (469施設参加) (3)教育研修 12地区部会 31回開催 (2,093人受講) (1)安房地区部会における進路指導担当教諭への看護理解を目的とした研修会の開催 (8/6) (2)印旛地区における公開看護師研修会の開催 新人看護師を対象にした公開研修会の実施 : 4病院 (聖隷佐倉市民病院 成田赤十字病院 東邦大学医療センター佐倉病院 日本医科大学千葉北総病院) 既卒者を対象に公開研修会の実施 : 2病院 (聖隷佐倉市民病院、東邦大学医療センター佐倉病院) (1)各地区の市町村及び関係機関との連携 ①地区で開催される事業への協力 ・九都県市合同防災訓練 (千葉地区1日) ・船橋市総合防災訓練 (船橋地区1日) ・集団災害医療懇話会定例会 (松戸地区3日) ・松戸市花火大会の救護 (松戸地区1日) ・松戸市総合防災訓練 (松戸地区1日)、高齢者体力測定 (安房地区1日) ・サッカーフェスティバル救護 (安房地区3日) ・ロードレース千倉救護 (安房地区1日)
ステーション事業に関する事項	1 訪問看護事業 (1)利用者見込み 月平均 65人 (2)訪問看護 月平均 460回 (3)在宅ホスピス・難病等医療ニーズの高い患者	(1)利用者 利用者 月平均 59名 常勤換算平均5.7人 (2)訪問看護 月平均 415回 (3)在宅ホスピス・難病等医療ニーズの高い患者家族への支援の充実 在宅の看取り 11名 人工呼吸器装着患者 6名

項目	実施計画	事業実施事項 (平成23年度新規事業はゴシック体、再掲事業については記載を省略)
看護協会ちば訪問看護ステーション事業に関する事項	<p>(4)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 (5)実績評価会議 月1回</p> <p>2 居宅介護支援事業 (1)ケアプラン 月平均 60件 (2)利用者の申請代行 (3)地域ネットワークづくり ・居宅サービス事業所との連携</p> <p>3 訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ</p> <p>4 地域のニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・難病患者の看護を特徴とした訪問看護体制の充実 (2)ちば訪問看護ステーション運営会議 年4回 (3)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (4)サテライトの設置</p> <p>5 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1)指定地域の医療機関、介護支援専門員等との連携 ・地域の行事・交流会、連絡会等への参加 (2)利用者確保のための営業活動</p> <p>6 職員の資質の向上 (1)事例検討会等 月2回 (2)研修会、学会等への積極的参加 (3)ちば訪問看護ステーション定例会議 (再掲) (4)地域の行事・交流会、連絡会等への参加</p>	<p>(4)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 緊急時の訪問看護連絡190件、訪問187件、休日訪問78回 (5)実績評価会議 月1回</p> <p>(1)ケアプラン 月平均 55.6件 常勤換算平均1.6人 (2)利用者の申請代行 4件 (3)地域ネットワークづくり ・居宅サービス事業所との連携 担当者会議 平均月3回</p> <p>(1)訪問看護研修生の受入れ 9施設、11人、14日 (2)看護学生実習の受入れ 8校、30人、96日</p> <p>(1)在宅ホスピス・難病患者の看護を特徴とした訪問看護体制の充実 (2)ちば訪問看護ステーション運営会議 2回 (4/7、11/28) (3)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (定例第3火曜日)</p> <p>(1)指定地域の医療機関、介護支援専門員等との連携 ・地域の行事・交流会、連絡会等への参加 指定地域の開業医、病院、ケアマネ等連絡協議会出席 12回</p> <p>(1)事例検討会等 看護技術勉強会 月2回 (2)研修会、学会等への積極的参加 13人参加 延59日間</p> <p>(4)地域の行事・交流会、連絡会等への参加 訪問看護ステーション連絡協議会参加 (毎月1回) 6回 居宅介護連絡協議会参加 1回 地域の行事、交流会の参加 20回</p>
看護会館・ナースセンターの維持に関する事項	<p>1 会館・ナースセンターの保全 (1)安全管理 ①火災訓練 ・消防用設備等点検 年1回 ・防災訓練 年1回 ②電気設備の保安 ・自家用電気工作物点検 月1回 ③設備整備 ④設備点検 (2)環境設備 ①重要書類の管理 ②物品の管理 ③エコの積極的な取組み (照明・空調等)</p> <p>2 ナースセンターの相談室の拡充 (1)相談室の改修</p>	<p>(1)安全管理 ①火災訓練 ・消防用設備等点検 (12月) ・防災訓練 (12/20) ②電気設備の保安 ・自家用電気工作物点検 月1回 ③設備整備 大研修室音響設備の改修 (4月) 地上デジタル放送対応工事 (6月) 震災に伴う会館敷地修繕 (7月) 千葉県看護会館・ナースセンター間内線開通工事 (9月) ④設備点検 ナースセンター・エレベーター定期点検 月1回 自動ドア定期点検 月1回</p> <p>(2)環境設備 ③エコの積極的な取組み (照明・空調等) 電力不足に伴う節電の取組 (夏季の事務室冷房温度の設定温度 (28℃) の徹底、昼休み時間の消灯等)</p> <p>(3)システム関連 ①会員管理システムの改修 (一括継続機能等の追加)</p> <p>(1)相談室の改修・相談室開設 (6月)</p>

平成23年度決算報告

1. 平成23年度収支決算の概要

1) 一般会計

収入は、入会金で815,000円、会費で300,000円の増収、事業収入の研修会参加料で1,263,500円の増収、また繰入金収入では、収益事業より2,300,000円の増収となった。支出では、事業費全体で3,883,258円の支出減、管理費全体で11,513,282円の支出減、内、人件費で各事業別支出により6,733,842円の支出減となった。又、需用費では各科目経費節減及び事業別支出により総額3,766,644円の支出減となった。

看護会館の安定的な資金確保の為、入会金の29,255,000円、ナースセンター会館管理費7,459,000円の他に10,815,000円を会館維持会計へ繰入した。

2) 特別会計（会館維持）

一般会計からの繰入金収入により、安定した事業収入は確保出来た。看護会館維持確保の為、減価償却引当積立として32,268,645円を積立した。

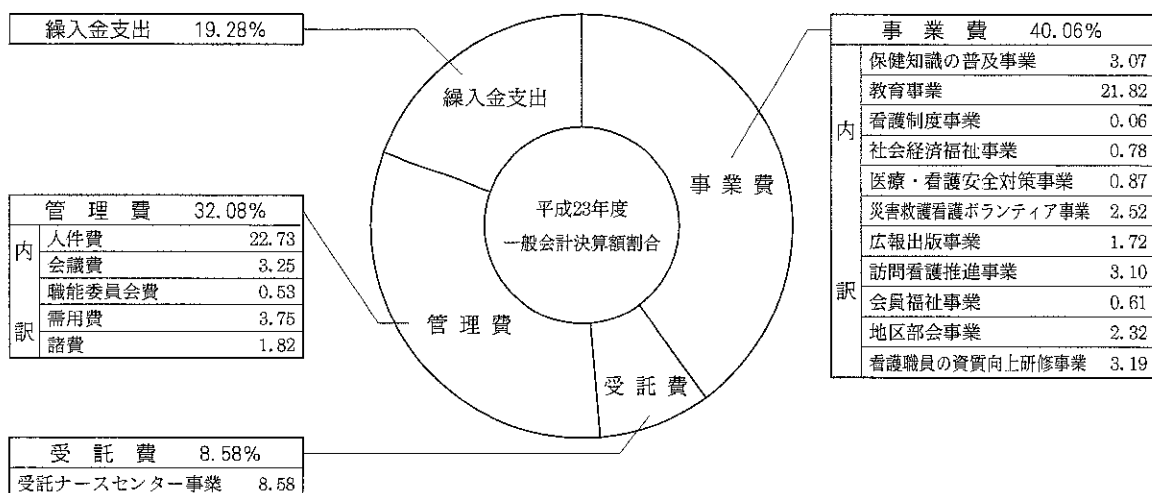
3) 特別会計（収益事業）

看護の日、看護学会出展料等の増収により、諸経費を差し引いて公益法人の寄付金の節税効果を生かし、3,300,000円を一般会計に繰り入れた。

4) 特別会計（ちば訪問看護ステーション事業）

職員の退職に伴う訪問先減により事業収入は1,637,076円の減収となった。次年度は職員の確保も見込まれ、回復基調にある。

平成23年度一般会計決算額割合



平成23年度一般会計各事業等予算執行状況一覧

(円)

科 目	予算額	決算額	執行率%
保健知識の普及事業	9,280,000	9,046,108	97.5%
教育事業	63,990,000	64,201,064	100.3%
看護制度事業	280,000	184,268	65.8%
社会経済福祉事業	2,510,000	2,297,477	91.5%
医療・看護安全対策事業	3,120,000	2,551,569	81.8%
災害救護看護ボランティア事業	7,540,000	7,404,663	98.2%
広報出版事業	5,000,000	5,074,057	101.5%
訪問看護推進事業	9,490,000	9,138,096	96.3%
会員福祉事業	1,800,000	1,783,730	99.1%
地区部会事業	9,400,000	6,812,657	72.5%
看護職員の資質向上研修事業	9,340,000	9,373,053	100.4%
受託ナースセンター事業	25,044,000	25,228,632	100.7%
人件費	73,590,625	66,856,783	90.8%
会議費	10,000,000	9,564,422	95.6%
職能委員会費	1,800,000	1,562,422	86.8%
需用費	14,800,000	11,033,356	74.5%
諸費	5,700,000	5,360,360	94.0%
繰入金支出	45,899,000	56,714,000	123.6%
合計	298,583,625	294,186,717	98.5%

貸借対照表総括表

平成24年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計 (会館維持)	特別会計 (収益事業)	特別会計 (ちば訪問看護 ステーション)	内部取引消去	合計
I 資産の部						
1. 流動資産	182,470,675	1,030,190	3,383,800	14,975,821	△ 3,900,145	197,960,341
2. 固定資産	[69,360,285]	[487,630,491]	[0]	[19,490,278]		[576,481,054]
(1)特定資産	69,109,255	283,796,992	0	18,167,800		371,074,047
(2)その他固定資産	251,030	203,833,499	0	1,322,478		205,407,007
資産合計	251,830,960	488,660,681	3,383,800	34,466,099	△ 3,900,145	774,441,395
II 負債の部						
1. 流動負債	117,668,721	0	1,633,601	2,421,714	△ 3,900,145	117,823,891
2. 固定負債	29,019,520	0	0	9,680,980		38,700,500
負債合計	146,688,241	0	1,633,601	12,102,694	△ 3,900,145	156,524,391
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産	0	0	0	0		0
(うち基本財産 への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産 への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	105,142,719	488,660,681	1,750,199	22,363,405		617,917,004
(うち基本財産 への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産 への充当額)	(69,109,255)	(283,796,992)	(0)	(18,167,800)		(371,074,047)
正味財産合計	105,142,719	488,660,681	1,750,199	22,363,405	0	617,917,004
負債及び 正味財産合計	251,830,960	488,660,681	3,383,800	34,466,099	△ 3,900,145	774,441,395

正味財産増減計算書総括表

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計 (会館維持)	特別会計 (収益事業)	特別会計 (ちば訪問看護 ステーション)	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益	[309,267,078]	[59,824,494]	[6,172,147]	[57,876,360]	[△62,305,500]	[370,834,579]
受取入会金	29,255,000	0	0	0		29,255,000
受取会費	136,380,000	0	0	0		136,380,000
事業収益	138,703,017	0	6,171,206	57,372,924		202,247,147
受取補助金等	0	0	0	0		0
受取寄付金	0	0	0	0		0
雑収益	1,629,061	3,110,494	941	503,436	△ 2,291,500	2,952,432
他会計からの繰入額	3,300,000	56,714,000	0	0	△ 60,014,000	0
(2) 経常費用	[294,571,127]	[42,819,818]	[5,478,931]	[58,203,274]	[△62,305,500]	[338,767,650]
事業費	117,866,742	0	688,529	58,203,274	△ 2,291,500	174,467,045
受託事業費	25,228,632	0	0	0		25,228,632
管理費	94,761,753	42,819,818	1,490,402	0		139,071,973
他会計への繰出額	56,714,000	0	3,300,000	0	△ 60,014,000	0
当期経常増減額	14,695,951	17,004,676	693,216	△ 326,914	0	32,066,929
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	[0]	[12,180]	[0]	[83,800]		[95,980]
(2) 経常外費用	[0]	[35,119]	[0]	[11,176]		[46,295]
当期経常外増減額	0	△ 22,939	0	72,624	0	49,685
当期一般正味財産増減額	14,695,951	16,981,737	693,216	△ 254,290		32,116,614
一般正味財産期首残高	90,446,768	471,678,944	1,056,983	22,617,695		585,800,390
一般正味財産期末残高	105,142,719	488,660,681	1,750,199	22,363,405	0	617,917,004
II 指定正味財産増減の部						0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	105,142,719	488,660,681	1,750,199	22,363,405	0	617,917,004

収支計算書総括表

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計 (会館維持)	特別会計 (収益事業)	特別会計 (ちば訪問看護 ステーション)	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入	[309,267,078]	[59,824,494]	[6,172,147]	[57,876,360]	[△62,305,500]	[370,834,579]
入会金収入	29,255,000	0	0	0		29,255,000
会費収入	136,380,000	0	0	0		136,380,000
事業収入	138,703,017	0	6,171,206	57,372,924		202,247,147
補助金等収入	0	0	0	0		0
寄付金収入	0	0	0	0		0
雑収入	1,629,061	3,110,494	941	503,436	△ 2,291,500	2,952,432
他会計からの繰入金収入	3,300,000	56,714,000	0	0	△ 60,014,000	0
2. 事業活動支出	[294,186,717]	[27,423,718]	[5,478,931]	[56,883,930]	[△62,305,500]	[321,667,796]
事業費支出	117,866,742	0	688,529	56,883,930	△ 2,291,500	173,147,701
受託事業費支出	25,228,632	0	0	0		25,228,632
管理費支出	94,377,343	27,423,718	1,490,402	0		123,291,463
他会計への繰入金支出	56,714,000	0	3,300,000	0	△ 60,014,000	0
事業活動収支差額	15,080,361	32,400,776	693,216	992,430	0	49,166,783
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入	[6,080,625]	[67,268,672]	[0]	[1,471,500]	[0]	[74,820,797]
特定資産取崩収入	6,080,625	67,268,672	0	1,471,000		74,820,297
固定資産売却収入	0	0	0	500		500
固定資産移行収入	0	0	0	0		0
敷金保証金戻り収入	0	0	0	0		0
2. 投資活動支出	[7,200,000]	[99,765,134]	[0]	[3,216,451]	[0]	[110,181,585]
特定資産取得支出	7,200,000	94,625,788	0	2,200,000		104,025,788
固定資産取得支出	0	5,139,346	0	1,006,571		6,145,917
固定資産受入支出	0	0	0	0		0
敷金保証金支出	0	0	0	9,880		9,880
投資活動収支差額	△ 1,119,375	△ 32,496,462	0	△ 1,744,951	0	△ 35,360,788
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入	0	0	0	0		0
2. 財務活動支出	0	0	0	0		0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0		0
当期収支差額	13,960,986	△ 95,686	693,216	△ 752,521	0	13,805,995
前期繰越収支差額	50,840,968	1,125,876	1,056,983	13,306,628		66,330,455
次期繰越収支差額	64,801,954	1,030,190	1,750,199	12,554,107	0	80,136,450

一般会計貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	192,997	245,533	△ 52,536
普通預金	173,888,698	164,439,054	9,449,644
未収入金	5,096,499	0	5,096,499
前払費用	99,600	133,400	△ 33,800
特別会計（収益事業）	1,511,821	1,496,108	15,713
特別会計（ステーション事業）	1,681,060	1,658,399	22,661
流動資産合計	182,470,675	167,972,494	14,498,181
2. 固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	28,809,255	28,389,880	419,375
記念事業積立資産	6,300,000	5,600,000	700,000
基本財産準備積立資産	34,000,000	34,000,000	0
特定資産合計	69,109,255	67,989,880	1,119,375
(2)その他固定資産			
電話加入権	251,030	251,030	0
その他固定資産合計	251,030	251,030	0
固定資産合計	69,360,285	68,240,910	1,119,375
資産合計	251,830,960	236,213,404	15,617,556
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	116,958,000	116,400,000	558,000
預り金	710,721	731,526	△ 20,805
流動負債合計	117,668,721	117,131,526	537,195
2. 固定負債			
退職給付引当金	29,019,520	28,635,110	384,410
固定負債合計	29,019,520	28,635,110	384,410
負債合計	146,688,241	145,766,636	921,605
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	105,142,719	90,446,768	14,695,951
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(69,109,255)	(67,989,880)	(1,119,375)
正味財産合計	105,142,719	90,446,768	14,695,951
負債及び正味財産合計	251,830,960	236,213,404	15,617,556

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

一般会計正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 受取入会金	[29,255,000]	[28,645,000]	[610,000]
1 受取入会金	(29,255,000)	(28,645,000)	(610,000)
(1) 受取入会金	29,255,000	28,645,000	610,000
2 受取会費	[136,380,000]	[132,450,000]	[3,930,000]
1 受取会費	(136,380,000)	(132,450,000)	(3,930,000)
(1) 正会員受取会費	136,380,000	132,450,000	3,930,000
3 事業収益	[138,703,017]	[141,411,740]	[△ 2,708,723]
1 受取事業委託料	(66,631,192)	(74,218,500)	(△ 7,587,308)
(1) ナスセンター事業委託料	25,044,000	24,208,000	836,000
(2) ナスセンター会館管理委託料	7,459,000	6,232,000	1,227,000
(3) 訪問看護推進事業委託料	7,600,000	7,528,000	72,000
(4) 看護職員の資質向上研修事業委託料	8,069,000	6,415,000	1,654,000
(5) 日本看護協会委託料	10,182,840	0	10,182,840
(6) 多様な勤務形態導入支援事業委託料	2,180,000	0	2,180,000
(7) 小児救急電話相談事業委託料	1,091,053	924,500	166,553
(8) 高齢者見守支援事業委託料	5,005,299	0	5,005,299
(9) 看護教員養成事業委託料	0	8,246,000	△ 8,246,000
(10) 訪問看護支援事業委託料	0	16,325,000	△ 16,325,000
(11) 自殺予防対策事業委託料	0	4,340,000	△ 4,340,000
2 受取補助金助成金	(16,328,325)	(10,015,840)	(6,312,485)
(1) 自殺予防対策事業	4,340,000	0	4,340,000
(2) 日本看護協会助成金	10,042,120	10,015,840	26,280
(3) 看護学生への禁煙モデル事業	300,000	0	300,000
(4) 千葉県災害支援事業	1,646,205	0	1,646,205
(5) 日本看護学会助成金	0	0	0
3 受取研修参加料	(54,443,500)	(57,135,400)	(△ 2,691,900)
(1) 研修会参加料	54,443,500	49,155,900	5,287,600
(2) 教員養成研修参加料	0	7,979,500	△ 7,979,500
4 その他事業	(1,300,000)	(42,000)	(1,258,000)
(1) 看護職確保定着事業	1,300,000	42,000	1,258,000
4 受取補助金等	[0]	[270,000]	[△ 270,000]
1 受取民間助成金	(0)	(270,000)	(△ 270,000)
(1) 民間助成金	0	270,000	△ 270,000
5 受取寄付金	[0]	[1,240,000]	[△ 1,240,000]
1 受取寄付金	(0)	(1,240,000)	(△ 1,240,000)
(1) 受取寄付金	0	1,240,000	△ 1,240,000
6 雑収益	[1,629,061]	[643,807]	[985,254]
1 雑収益	(1,629,061)	(643,807)	(985,254)
(1) 受取利息	115,503	194,887	△ 79,384
(2) 受取手数料	20,725	24,500	△ 3,775
(3) 雑収益	1,492,833	424,420	1,068,413
7 他会計からの繰入額	[3,300,000]	[1,000,000]	[2,300,000]
1 他会計からの繰入額	(3,300,000)	(1,000,000)	(2,300,000)
(1) 収益事業会計からの繰入額	3,300,000	1,000,000	2,300,000
経常収益計	309,267,078	305,660,547	3,606,531

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 經常費用			
1 事業費	[117,866,742]	[121,662,028]	[△ 3,795,286]
1 保健知識普及事業	(9,046,108)	(6,898,497)	(2,147,611)
(1) 給料手当	3,873,000	0	3,873,000
(2) 旅費交通費	108,375	128,410	△ 20,035
(3) 通信運搬費	434,638	435,815	△ 1,177
(4) 消耗品費	241,945	105,667	136,278
(5) 印刷製本費	1,368,115	982,119	385,996
(6) 賃借料	316,820	128,230	188,590
(7) 諸謝金	1,271,750	382,364	889,386
(8) 雑費	1,431,465	4,735,892	△ 3,304,427
2 教育事業	(64,201,064)	(49,779,600)	(14,421,464)
(1) 給料手当	18,268,772	20,342,429	△ 2,073,657
(2) 賞与	5,507,417	2,414,719	3,092,698
(3) 通勤費	1,279,884	549,771	730,113
(4) 福利厚生費	3,757,991	2,278,691	1,479,300
(5) 旅費交通費	347,770	460,920	△ 113,150
(6) 通信運搬費	1,159,771	1,160,497	△ 726
(7) 消耗品費	1,056,886	976,154	80,732
(8) 印刷製本費	3,394,906	3,931,240	△ 536,334
(9) 賃借料	402,534	2,484,186	△ 2,081,652
(10) 諸謝金	14,024,535	11,668,316	2,356,219
(11) 雑費	3,082,082	3,337,742	△ 255,660
(12) 日本看護学会費	11,918,516	174,935	11,743,581
3 看護制度事業	(184,268)	(144,225)	(40,043)
(1) 旅費交通費	73,520	107,520	△ 34,000
(2) 消耗品費	11,000	980	10,020
(3) 印刷製本費	14,595	2,000	12,595
(4) 通信運搬費	25,587	0	25,587
(5) 賃借料	0	0	0
(6) 諸謝金	46,666	0	46,666
(7) 雑費	12,900	33,725	△ 20,825
4 社会経済福祉事業	(2,297,477)	(1,335,808)	(961,669)
(1) 給料手当	1,125,000	0	1,125,000
(2) 旅費交通費	239,860	245,100	△ 5,240
(3) 通信運搬費	147,585	73,765	73,820
(4) 消耗品費	82,948	23,362	59,586
(5) 印刷製本費	24,480	689,612	△ 665,132
(6) 諸謝金	561,601	0	561,601
(7) 雑費	116,003	303,969	△ 187,966
5 医療・看護安全対策事業	(2,551,569)	(1,747,857)	(803,712)
(1) 旅費交通費	191,425	265,135	△ 73,710
(2) 通信運搬費	236,742	350,516	△ 113,774
(3) 消耗品費	35,545	48,365	△ 12,820
(4) 印刷製本費	424,220	307,990	116,230
(5) 賃借料	687,225	143,250	543,975
(6) 諸謝金	435,410	331,641	103,769
(7) 雑費	541,002	300,960	240,042

科 目	当年度	前年度	増 減
6 災害救護看護ボランティア事業	(7,404,663)	(1,726,757)	(5,677,906)
(1) 旅費交通費	1,265,351	105,720	1,159,631
(2) 通信運搬費	313,080	46,940	266,140
(3) 消耗品費	148,286	38,372	109,914
(4) 印刷製本費	116,760	19,782	96,978
(5) 賃借料	6,560	0	6,560
(6) 諸謝金	2,130,431	200,122	1,930,309
(7) 雑費	3,424,195	1,315,821	2,108,374
7 広報出版事業	(5,074,057)	(4,658,959)	(415,098)
(1) 旅費交通費	105,400	165,520	△ 60,120
(2) 通信運搬費	490,755	401,622	89,133
(3) 消耗品費	7,953	18,317	△ 10,364
(4) 印刷製本費	4,447,340	4,039,210	408,130
(5) 雑費	22,609	34,290	△ 11,681
8 会員福祉事業	(1,783,730)	(570,125)	(1,213,605)
(1) 旅費交通費	0	0	0
(2) 雑費	1,783,730	570,125	1,213,605
9 地区部会事業	(6,812,657)	(7,355,673)	(△ 543,016)
(1) 地区部会事業費	6,812,657	7,355,673	△ 543,016
10 訪問看護推進事業	(9,138,096)	(8,152,829)	(985,267)
(1) 給料手当	4,961,077	4,388,033	573,044
(2) 通勤費	180,800	355,200	△ 174,400
(3) 福利厚生費	843,668	679,758	163,910
(4) 旅費交通費	371,130	237,095	134,035
(5) 通信運搬費	560,397	128,307	432,090
(6) 消耗品費	71,031	73,064	△ 2,033
(7) 印刷製本費	112,060	572,485	△ 460,425
(8) 賃借料	70,000	1,290	68,710
(9) 諸謝金	952,189	1,639,407	△ 687,218
(10) 雑費	1,015,744	78,190	937,554
11 看護職員の資質向上研修事業	(9,373,053)	(6,467,993)	(2,905,060)
(1) 給料手当	2,960,000	3,084,800	△ 124,800
(2) 旅費交通費	124,360	4,310	120,050
(3) 通信運搬費	403,133	85,880	317,253
(4) 消耗品費	533,509	31,412	502,097
(5) 印刷製本費	716,315	319,590	396,725
(6) 賃借料	0	113,400	△ 113,400
(7) 諸謝金	3,473,683	2,367,346	1,106,337
(8) 雑費	1,162,053	461,255	700,798
12 看護教員養成事業	(0)	(16,344,825)	(△ 16,344,825)
(1) 給料手当	0	6,541,082	△ 6,541,082
(2) 通勤費	0	504,960	△ 504,960
(3) 福利厚生費	0	1,374,843	△ 1,374,843
(4) 旅費交通費	0	50,110	△ 50,110
(5) 通信運搬費	0	198,832	△ 198,832
(6) 消耗品費	0	215,856	△ 215,856
(7) 印刷製本費	0	251,176	△ 251,176
(8) 賃借料	0	126,000	△ 126,000
(9) 諸謝金	0	6,297,570	△ 6,297,570
(10) 雑費	0	784,396	△ 784,396

科 目	当年度	前年度	増 減
13 訪問看護支援事業	(0)	(16,478,880)	(△ 16,478,880)
(1) 給料手当	0	3,211,388	△ 3,211,388
(2) 通勤費	0	20,000	△ 20,000
(3) 福利厚生費	0	305,820	△ 305,820
(4) 旅費交通費	0	11,915	△ 11,915
(5) 通信運搬費	0	725,565	△ 725,565
(6) 消耗品費	0	77,364	△ 77,364
(7) 印刷製本費	0	128,210	△ 128,210
(8) 賃借料	0	41,000	△ 41,000
(9) 諸謝金	0	1,214,835	△ 1,214,835
(10) 雑費	0	10,742,783	△ 10,742,783
2 受託事業費	[25,228,632]	[24,483,249]	[745,383]
1 受託ナースセンター事業	(25,228,632)	(24,483,249)	(745,383)
(1) 給料手当	15,116,123	16,337,802	△ 1,221,679
(2) 通勤費	715,912	744,900	△ 28,988
(3) 福利厚生費	2,510,739	2,304,406	206,333
(4) 旅費交通費	88,450	130,730	△ 42,280
(5) 通信運搬費	1,182,131	1,078,010	104,121
(6) 消耗品費	481,464	360,047	121,417
(7) 印刷製本費	1,175,124	551,616	623,508
(8) 賃借料	2,710,270	1,283,248	1,427,022
(9) 保険料	0	0	0
(10) 諸謝金	840,665	842,541	△ 1,876
(11) 図書費	24,658	32,664	△ 8,006
(12) 雑費	383,096	817,285	△ 434,189
3 管理費	[94,761,753]	[95,310,784]	[△ 549,031]
1 人件費	(67,241,193)	(69,020,487)	(△ 1,779,294)
(1) 役員報酬	17,984,057	15,050,711	2,933,346
(2) 給料手当	23,485,367	23,904,426	△ 419,059
(3) 賞与	7,468,675	8,977,116	△ 1,508,441
(4) 福利厚生費	9,308,902	9,209,518	99,384
(5) 通勤費	2,529,157	2,268,466	260,691
(6) 退職給付費用	6,465,035	9,610,250	△ 3,145,215
2 会議費	(9,564,422)	(9,792,964)	(△ 228,542)
(1) 会議費	9,564,422	9,792,964	△ 228,542
3 職能委員会費	(1,562,422)	(1,586,613)	(△ 24,191)
(1) 職能委員会費	1,562,422	1,586,613	△ 24,191
4 需要費	(11,033,356)	(10,689,383)	(343,973)
(1) 消耗品費	1,786,509	1,706,139	80,370
(2) 通信運搬費	1,054,570	2,160,848	△ 1,106,278
(3) 印刷製本費	1,207,620	795,190	412,430
(4) 旅費交通費	231,175	336,760	△ 105,585
(5) 管理諸費	5,445,356	3,905,267	1,540,089
(6) 保険料	130,690	144,620	△ 13,930
(7) 雑費	1,177,436	1,640,559	△ 463,123
5 諸費	(5,360,360)	(4,221,337)	(1,139,023)
(1) 交際費	128,952	276,850	△ 147,898
(2) 租税公課	5,231,408	3,944,487	1,286,921
4 他会計への繰出額	[56,714,000]	[54,877,000]	[1,837,000]
1 他会計への繰出額	(56,714,000)	(54,877,000)	(1,837,000)
(1) 会館維持会計への繰出額	56,714,000	54,877,000	1,837,000
経常費用計	294,571,127	296,333,061	△ 1,761,934
当期経常増減額	14,695,951	9,327,486	5,368,465

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,695,951	9,327,486	5,368,465
一般正味財産期首残高	90,446,768	81,119,282	9,327,486
一般正味財産期末残高	105,142,719	90,446,768	14,695,951
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	105,142,719	90,446,768	14,695,951

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

①退職給付引当金：当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

(2) 消費税等の会計処理

①消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	28,389,880	6,500,000	6,080,625	28,809,255
記念事業積立資産	5,600,000	700,000	0	6,300,000
基本財産準備資産	34,000,000	0	0	34,000,000
小 計	67,989,880	7,200,000	6,080,625	69,109,255
合 計	67,989,880	7,200,000	6,080,625	69,109,255

3 基本財産及び特定資産の財源などの内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	28,809,255	0	28,809,255	28,809,255
記念事業積立資産	6,300,000	0	6,300,000	0
基本財産準備資産	34,000,000	0	34,000,000	0
小 計	69,109,255	0	69,109,255	28,809,255
合 計	69,109,255	0	69,109,255	28,809,255

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2.に記載

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	28,635,110	6,465,035	6,080,625	0	29,019,520

一般会計財産目録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額			
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金 現金手許有高		192,997		
普通預金 千葉銀行 本店 (1口)		173,888,698		
未収入金 23年度事業委託料		5,096,499		
前払費用 24年度経費前払 (1件)		99,600		
特別会計(収益事業)				
特別会計(収益事業)経費立替金	1,511,821	1,511,821		
特別会計(ステーション事業)				
特別会計(ちば訪問看護ステーション)経費立替金	1,681,060	1,681,060		
流動資産合計			182,470,675	
2. 固定資産				
(1)特定資産				
退職給付引当資産				
千葉銀行 本店				
(普通預金)	4,809,255			
(定期預金)	24,000,000	28,809,255		
記念事業積立資産				
千葉銀行 本店・定期預金 (1口)	6,300,000	6,300,000		
基本財産準備積立資産				
千葉銀行 本店・定期預金 (1口)	34,000,000	34,000,000		
特定資産合計		69,109,255		
(2)その他固定資産				
電話加入権				
相談事業用電話 245-0008 他 (もばら訪問看護ステーションより移行分 含む)		251,030		
その他固定資産合計		251,030		
固定資産合計			69,360,285	
資産合計				251,830,960
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受会費				
24年度会費前受分 6,000円×19,493人分	116,958,000	116,958,000		
預り金				
給与・講師謝金等に係る源泉所得税及び住民税	710,721	710,721		
流動負債合計			117,668,721	
2. 固定負債				
退職給付引当金				
当期末要支給額合計(21人分)	29,019,520	29,019,520		
固定負債合計			29,019,520	
負債合計				146,688,241
正味財産				105,142,719

一般会計収支計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入	303,836,160	309,267,078	△ 5,430,918	
1 入会金収入	28,440,000	29,255,000	△ 815,000	
1 入会金収入	28,440,000	29,255,000	△ 815,000	2,440名(内訳) 12,000円×2,437名
(1) 入会金収入	28,440,000	29,255,000	△ 815,000	6,000円×1名
2 会費収入	136,080,000	136,380,000	△ 300,000	3,000円×1名
1 会費収入	136,080,000	136,380,000	△ 300,000	2,000円×1名
(1) 正会員会費収入	136,080,000	136,380,000	△ 300,000	22,730名(内訳) 6,000円×22,730名
3 事業収入	137,896,160	138,703,017	△ 806,857	
1 事業委託料収入	67,088,040	66,631,192	456,848	
(1) ナースセンター事業委託料	25,044,000	25,044,000	0	千葉県事業委託料
(2) ナースセンター会館管理委託料	7,459,000	7,459,000	0	千葉県管理委託料
(3) 訪問看護推進事業委託料	7,600,000	7,600,000	0	千葉県事業委託料
(4) 看護職員の資質向上研修事業委託料	8,069,000	8,069,000	0	千葉県事業委託料
(5) 日本看護協会委託料	9,931,040	10,182,840	△ 251,800	日本看護学会、会員登録事務委託料
(6) 多様な勤務形態導入支援事業委託料	2,180,000	2,180,000	0	千葉県事業委託料
(7) 小児救急電話相談事業委託料	1,085,000	1,091,053	△ 6,053	千葉県事業委託料
(8) 高齢者等見守り支援事業委託料	5,720,000	5,005,299	714,701	千葉県事業委託料
2 補助金助成金収入	16,328,120	16,328,325	△ 205	
(1) 自殺予防対策事業	4,340,000	4,340,000	0	千葉県補助事業
(2) 日本看護協会助成金	10,042,120	10,042,120	0	教育研修、看護の普及啓発、WLB、災害支援ナース
(3) 看護学生への禁煙モデル事業	300,000	300,000	0	ちば県民保健予防財団助成事業
(4) 千葉県災害支援事業	1,646,000	1,646,205	△ 205	千葉県助成事業(東日本大震災)
3 研修参加料	53,180,000	54,443,500	△ 1,263,500	
(1) 研修会参加料	53,180,000	54,443,500	△ 1,263,500	研修会参加料、研修会資料代他
4 その他事業	1,300,000	1,300,000	0	看護フェア施設参加料
(1) 看護職確保定着事業	1,300,000	1,300,000	0	
4 雑収入	420,000	1,629,061	△ 1,209,061	
1 雑収入	420,000	1,629,061	△ 1,209,061	
(1) 受取利息収入	100,000	115,503	△ 15,503	預金利息
(2) 手数料収入	20,000	20,725	△ 725	受講書再発行
(3) 雑収入	300,000	1,492,833	△ 1,192,833	船橋市防災活動費、祝金、会館使用料他
5 他会計からの繰入金収入	1,000,000	3,300,000	△ 2,300,000	
1 他会計からの繰入金収入	1,000,000	3,300,000	△ 2,300,000	
(1) 収益事業会計繰入金収入	1,000,000	3,300,000	△ 2,300,000	収益事業より
事業活動収支	303,836,160	309,267,078	△ 5,430,918	
2 事業活動支出	298,583,625	294,186,717	4,396,908	
1 事業費支出	121,750,000	117,866,742	3,883,258	
1 保健知識の普及事業	9,280,000	9,046,108	233,892	
(1) 給料手当	3,320,000	3,873,000	△ 553,000	主な事業
(2) 旅費交通費	500,000	108,375	391,625	自殺対策事業
(3) 通信運搬費	650,000	434,638	215,362	小児救急電話相談事業
(4) 消耗品費	150,000	241,945	△ 91,945	禁煙対策事業
(5) 印刷製本費	1,200,000	1,368,115	△ 168,115	看護の日事業
(6) 賃借料	400,000	316,820	83,180	まちの保健室事業
(7) 諸謝金	1,560,000	1,271,750	288,250	職員2名(他業務兼務)
(8) 雑費	1,500,000	1,431,465	68,535	

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
2 教育事業	63,990,000	64,201,064	△ 211,064	主な事業(研修、研究会、日本看護学会)
(1) 給料手当	17,600,000	18,268,772	△ 668,772	職員6名(内2名兼務)
(2) 賞与	5,510,000	5,507,417	2,583	職員6名(内2名兼務)
(3) 通勤費	1,300,000	1,279,884	20,116	職員6名(内2名兼務)
(4) 福利厚生費	4,200,000	3,757,991	442,009	職員6名(内2名兼務)
(5) 旅費交通費	300,000	347,770	△ 47,770	会議旅費
(6) 通信運搬費	1,500,000	1,159,771	340,229	研修案内、受講決定通知等
(7) 消耗品費	1,620,000	1,056,886	563,114	事務用品等
(8) 印刷製本費	3,300,000	3,394,906	△ 94,906	研修計画案内、リーフレット、研究会集録等
(9) 賃借料	800,000	402,534	397,466	看護研究会会場料等
(10) 諸謝金	11,440,000	14,024,535	△ 2,584,535	講師謝金等
(11) 雑費	4,500,000	3,082,082	1,417,918	研修会諸経費等
(12) 日本看護学会費	11,920,000	11,918,516	1,484	日本看護学会(看護総合)
3 看護制度事業	280,000	184,268	95,732	主な事業(委員会)
(1) 旅費交通費	120,000	73,520	46,480	会議旅費
(2) 消耗品費	30,000	11,000	19,000	事務用品等
(3) 印刷製本費	15,000	14,595	405	コピー代等
(4) 通信運搬費	55,000	25,587	29,413	送料
(5) 諸謝金	30,000	46,666	△ 16,666	広報、情報収集等
(6) 雑費	30,000	12,900	17,100	
4 社会経済福祉事業	2,510,000	2,297,477	212,523	主な事業(多様な勤務形態導入支援事業)
(1) 給料手当	1,280,000	1,125,000	155,000	職員1名
(2) 旅費交通費	190,000	239,860	△ 49,860	会議・研修会旅費
(3) 通信運搬費	140,000	147,585	△ 7,585	電話料、送料
(4) 消耗品費	110,000	82,948	27,052	事務用品
(5) 印刷製本費	50,000	24,480	25,520	コピー代
(6) 諸謝金	620,000	561,601	58,399	社労士、WLB研修
(7) 雑費	120,000	116,003	3,997	会議経費
5 医療・看護安全対策事業	3,120,000	2,551,569	568,431	主な事業(委員会、医療安全大会、交流会他)
(1) 旅費交通費	350,000	191,425	158,575	会議旅費等
(2) 通信運搬費	540,000	236,742	303,258	送料
(3) 消耗品費	50,000	35,545	14,455	事務用品他
(4) 印刷製本費	440,000	424,220	15,780	冊子印刷等
(5) 賃借料	700,000	687,225	12,775	会場料等
(6) 諸謝金	420,000	435,410	△ 15,410	講演料他
(7) 雑費	620,000	541,002	78,998	大会諸費
6 災害救護看護ボランティア事業	7,540,000	7,404,663	135,337	主な事業(東日本大震災、高齢者等見守り支援事業)
(1) 旅費交通費	990,000	1,265,351	△ 275,351	災害支援ナース・相談員
(2) 通信運搬費	310,000	313,080	△ 3,080	携帯電話料
(3) 消耗品費	120,000	148,286	△ 28,286	災害物品等
(4) 印刷製本費	1,230,000	116,760	1,113,240	資料印刷
(5) 賃借料	70,000	6,560	63,440	会場料
(6) 諸謝金	3,070,000	2,130,431	939,569	災害支援ナース、相談員
(7) 雑費	1,750,000	3,424,195	△ 1,674,195	東日本大震災、災害物品
7 広報出版事業	5,000,000	5,074,057	△ 74,057	主な事業(委員会、看護ちば製作)
(1) 旅費交通費	160,000	105,400	54,600	会議及び取材旅費等
(2) 通信運搬費	440,000	490,755	△ 50,755	送料等
(3) 消耗品費	10,000	7,953	2,047	事務用品
(4) 印刷製本費	4,300,000	4,447,340	△ 147,340	看護ちば年4回発行他
(5) 雑費	90,000	22,609	67,391	会議諸経費等

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
8 会員福祉事業	1,800,000	1,783,730	16,270	
(1) 旅費交通費	10,000	0	10,000	
(2) 雑費	1,790,000	1,783,730	6,270	表彰者記念品、地震災害見舞金等40件1,300千円
9 地区部会事業	9,400,000	6,812,657	2,587,343	
(1) 地区部会事業費	9,400,000	6,812,657	2,587,343	内訳(地区部会5,938千円、本部875千円)
10 訪問看護推進事業	9,490,000	9,138,096	351,904	主な事業(委員会、千葉県委託事業)
(1) 給料手当	4,250,000	4,961,077	△ 711,077	職員2名(内1名兼務)・訪問看護推進事業
(2) 福利厚生費	480,000	843,668	△ 363,668	職員2名(内1名兼務)
(3) 通勤費	230,000	180,800	49,200	職員2名(内1名兼務)
(4) 旅費交通費	450,000	371,130	78,870	会議及び旅費等
(5) 通信運搬費	550,000	560,397	△ 10,397	送料
(6) 消耗品費	160,000	71,031	88,969	事務用品
(7) 印刷製本費	750,000	112,060	637,940	地域連携フォーラムチラシ他
(8) 賃借料	50,000	70,000	△ 20,000	会場料等
(9) 諸謝金	1,620,000	952,189	667,811	研修講師料、委員報酬等
(10) 雑費	950,000	1,015,744	△ 65,744	システム管理等
11 看護職員の資質向上研修事業	9,340,000	9,373,053	△ 33,053	主な事業(千葉県事業委託)：新任看護職員 中堅看護業務 ：助産師外来 ：認知症看護
(1) 給料手当	3,250,000	2,960,000	290,000	職員2名(2名他業務兼務)
(2) 旅費交通費	130,000	124,360	5,640	実技研修等
(3) 通信運搬費	410,000	403,133	6,867	送料
(4) 消耗品費	530,000	533,509	△ 3,509	事務用品等
(5) 印刷製本費	720,000	716,315	3,685	研修資料等
(6) 諸謝金	3,300,000	3,473,683	△ 173,683	研修講師料
(7) 雑費	1,000,000	1,162,053	△ 162,053	研修教材等
2 受託事業費支出	25,044,000	25,228,632	△ 184,632	
1 受託ナースセンター事業	25,044,000	25,228,632	△ 184,632	千葉県事業委託
(1) 給料手当	13,700,000	15,116,123	△ 1,416,123	職員5名(内2名兼務)
(2) 通勤費	700,000	715,912	△ 15,912	職員5名(内2名兼務)
(3) 福利厚生費	2,450,000	2,510,739	△ 60,739	職員5名(内2名兼務)
(4) 旅費交通費	150,000	88,450	61,550	出張旅費等
(5) 通信運搬費	1,400,000	1,182,131	217,869	送料等
(6) 消耗品費	700,000	481,464	218,536	事務用品等
(7) 印刷製本費	1,420,000	1,175,124	244,876	コピー代、封筒、看護フェアー等
(8) 賃借料	2,900,000	2,710,270	189,730	システム機器賃借料等
(9) 諸謝金	500,000	840,665	△ 340,665	委員報酬等
(10) 図書費	40,000	24,658	15,342	図書購入
(11) 雑費	1,084,000	383,096	700,904	
3 管理費支出	105,890,625	94,377,343	11,513,282	
1 人件費	73,590,625	66,856,783	6,733,842	
(1) 役員報酬	21,480,000	17,984,057	3,495,943	役員4名
(2) 給料手当	23,280,000	23,485,367	△ 205,367	局長、職員8名
(3) 賞与	8,610,000	7,468,675	1,141,325	職員8名
(4) 福利厚生費	11,760,000	9,308,902	2,451,098	社会保険料等
(5) 通勤費	2,380,000	2,529,157	△ 149,157	役員4名、局長、職員8名
(6) 退職金	6,080,625	6,080,625	0	退職者1名
2 会議費	10,000,000	9,564,422	435,578	
(1) 会議費	10,000,000	9,564,422	435,578	総会・会議
3 職能委員会費	1,800,000	1,562,422	237,578	
(1) 職能委員会費	1,800,000	1,562,422	237,578	職能委員会、職能集会、准看交流会等

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
4 需要費	14,800,000	11,033,356	3,766,644	
(1) 消耗品費	2,500,000	1,786,509	713,491	事務用品等
(2) 通信運搬費	1,700,000	1,054,570	645,430	送料
(3) 印刷製本費	1,700,000	1,207,620	492,380	コピー代、封筒印刷等
(4) 旅費交通費	200,000	231,175	△ 31,175	職員出張旅費及びタクシー利用料
(5) 管理諸費	7,000,000	5,445,356	1,554,644	機器等リース料、会計税務顧問料等
(6) 保険料	200,000	130,690	69,310	傷害保険等
(7) 雑費	1,500,000	1,177,436	322,564	他団体年会費等
5 諸費	5,700,000	5,360,360	339,640	
(1) 交際費	350,000	128,952	221,048	祝金他
(2) 租税公課	5,350,000	5,231,408	118,592	消費税等
4 他会計への繰入金支出	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	
1 他会計への繰入金支出	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	
(1) 会館維持会計繰入金支出	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	会館維持会計へ
事業活動支出計	298,583,625	294,186,717	4,396,908	
事業活動収支差額	5,252,535	15,080,361	△ 9,827,826	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	6,080,625	6,080,625	0	
1 特定資産取崩収入	6,080,625	6,080,625	0	
(1) 退職給付引当資産取崩収入	6,080,625	6,080,625	0	退職者1名
(2) 基本財産準備積立資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	6,080,625	6,080,625	0	
2 投資活動支出	7,200,000	7,200,000	0	
1 特定資産取得支出	7,200,000	7,200,000	0	
(1) 退職給付引当資産支出	6,500,000	6,500,000	0	退職金引当積立金
(2) 記念事業積立資産支出	700,000	700,000	0	30周年記念事業準備積立金
投資活動支出計	7,200,000	7,200,000	0	
投資活動収支差額	△ 1,119,375	△ 1,119,375	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出				
1 予備費支出	2,000,000	0	2,000,000	
1 予備費	2,000,000	0	2,000,000	
当期収支差額	2,133,160	13,960,986	△11,827,826	
前期繰越収支差額	50,840,968	50,840,968	0	
次期繰越収支差額	52,974,128	64,801,954	△11,827,826	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払費用、特別会計(収益事業)、特別会計(ステーション事業)及び未払金、前受会費、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	245,533	192,997
普通預金	164,439,054	173,888,698
未収金	0	5,096,499
前払費用	133,400	99,600
特別会計(収益事業)	1,496,108	1,511,821
特別会計(ステーション事業)	1,658,399	1,681,060
合 計	167,972,494	182,470,675
未払金	0	0
前受会費	116,400,000	116,958,000
預り金	731,526	710,721
合 計	117,131,526	117,668,721
次期繰越収支差額	50,840,968	64,801,954

特別会計（会館維持）貸借対照表

平成24年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
前払費用	322,926	861,082	△ 538,156
特別会計（収益事業）	121,780	126,951	△ 5,171
特別会計（ステーション事業）	585,484	610,343	△ 24,859
流動資産合計	1,030,190	1,598,376	△ 568,186
2. 固定資産			
(1)特定資産			
会館維持積立資産	52,850,352	53,961,881	△ 1,111,529
減価償却引当資産	230,946,640	202,477,995	28,468,645
特定資産合計	283,796,992	256,439,876	27,357,116
(2)その他固定資産			
建物	362,483,658	361,730,683	752,975
構築物	29,858,920	29,858,920	0
車両運搬具	1,782,635	1,782,635	0
什器備品	62,145,828	61,006,528	1,139,300
図書	29,983,061	29,023,240	959,821
その他固定資産	14,998,478	14,424,128	574,350
建設仮勘定	0	0	0
減価償却累計額	△ 298,248,347	△ 284,530,028	△ 13,718,319
電話加入権	717,086	717,086	0
保証金	100,000	100,000	0
リサイクル預託金	12,180	0	12,180
その他固定資産合計	203,833,499	214,113,192	△ 10,279,693
固定資産合計	487,630,491	470,553,068	17,077,423
資産合計	488,660,681	472,151,444	16,509,237
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	472,500	△ 472,500
流動負債合計	0	472,500	△ 472,500
負債合計	0	472,500	△ 472,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	488,660,681	471,678,944	16,981,737
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(283,796,992)	(256,439,876)	(27,357,116)
正味財産合計	488,660,681	471,678,944	16,981,737
負債及び正味財産合計	488,660,681	472,151,444	16,509,237

（注）前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

特別会計（会館維持）正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 雑収益	[3,110,494]	[3,284,185]	[△ 173,691]
1 雑収益	(3,110,494)	(3,284,185)	(△ 173,691)
(1) 受取利息	2,030,494	2,204,185	△ 173,691
(2) 雑収益	1,080,000	1,080,000	0
2 他会計からの繰入額	[56,714,000]	[54,877,000]	[1,837,000]
1 他会計からの繰入額	(56,714,000)	(54,877,000)	(1,837,000)
(1) 一般会計からの繰入額	56,714,000	54,877,000	1,837,000
経常収益計	59,824,494	58,161,185	1,663,309
(2) 経常費用			
1 管理費	[42,819,818]	[40,909,117]	[1,910,701]
1 ナースセンター管理費	(7,525,419)	(6,767,022)	(758,397)
(1) 光熱水料費	1,876,800	2,429,603	△ 552,803
(2) 管理諸費	3,391,834	3,256,117	135,717
(3) 消耗什器備品費	364,665	0	364,665
(4) 消耗品費	105,420	0	105,420
(5) 賃借料	25,520	25,520	0
(6) 修繕費	1,736,190	1,055,782	680,408
(7) 雑費	24,990	0	24,990
2 看護会館管理費	(35,294,399)	(34,142,095)	(1,152,304)
(1) 通信運搬費	1,001,639	1,094,540	△ 92,901
(2) 光熱水料費	3,887,637	4,201,003	△ 313,366
(3) 管理諸費	9,435,232	9,484,853	△ 49,621
(4) 消耗什器備品費	992,560	438,511	554,049
(5) 消耗品費	32,383	59,458	△ 27,075
(6) 租税公課	1,555,600	1,636,600	△ 81,000
(7) 修繕費	1,364,990	563,221	801,769
(8) 賃借料	1,148,953	1,108,523	40,430
(9) 保険料	204,156	226,626	△ 22,470
(10) 減価償却費	15,396,100	15,328,760	67,340
(11) 雑費	275,149	0	275,149
経常費用計	42,819,818	40,909,117	1,910,701
当期経常増減額	17,004,676	17,252,068	△ 247,392
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
1 固定資産補正益	[12,180]	[0]	[12,180]
1 リサイクル預託金補正益	12,180	0	12,180
経常外収益計	12,180	0	12,180
(2) 経常外費用			
1 固定資産除却損	[35,119]	[330,557]	[△ 295,438]
1 什器備品除却損	35,119	330,557	△ 295,438
経常外費用計	35,119	330,557	△ 295,438
当期経常外増減額	△ 22,939	△ 330,557	307,618
当期一般正味財産増減額	16,981,737	16,921,511	60,226
一般正味財産期首残高	471,678,944	454,757,433	16,921,511
一般正味財産期末残高	488,660,681	471,678,944	16,981,737
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	488,660,681	471,678,944	16,981,737

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①建物、構築物、車両運搬具、什器備品定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く)については定額法を採用しております。

②その他固定資産(無形固定資産等)定額法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

①消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
会館維持積立資産	53,961,881	62,357,143	63,468,672	52,850,352
減価償却引当資産	202,477,995	32,268,645	3,800,000	230,946,640
小 計	256,439,876	94,625,788	67,268,672	283,796,992
合 計	256,439,876	94,625,788	67,268,672	283,796,992

3 基本財産及び特定資産の財源などの内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
会館維持積立資産	52,850,352	0	52,850,352	0
減価償却引当資産	230,946,640	0	230,946,640	0
小 計	283,796,992	0	283,796,992	0
合 計	283,796,992	0	283,796,992	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	362,483,658	201,701,997	160,781,661
構築物	29,858,920	27,169,619	2,689,301
車両運搬具	1,782,635	1,746,981	35,654
什器備品	62,145,828	58,479,549	3,666,279
図書	29,983,061	0	29,983,061
その他固定資産	14,998,478	9,150,201	5,848,277
合 計	501,252,580	298,248,347	203,004,233

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載

2. 引当金の明細

該当なし

特別会計（会館維持）財産目録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
前払費用			
会館等火災保険料 前払相当	140,259		
丁合機及びステーブル保守料 前払相当	116,667		
国債プレミアム費用期間按分 前払相当	66,000	322,926	
特別会計(収益事業)経費立替金		121,780	
特別会計(ちば訪問看護ステーション)経費立替金		585,484	
流動資産合計			1,030,190
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
会館維持積立資産			
千葉銀行 本店・普通預金 (1口)	17,850,352		
千葉銀行 本店・定期預金 (1口)	35,000,000	52,850,352	
減価償却引当資産			
千葉銀行 本店・普通預金 (1口)	40,946,640		
千葉銀行 本店・定期預金 (1口)	40,000,000		
利付国債5年 (3口)	150,000,000	230,946,640	
特定資産合計		283,796,992	
(2) その他固定資産			
建物			
看護会館(別館含む)及び本納建物	362,483,658		
減価償却累計額	△201,701,997	160,781,661	
構築物			
外柵工事等 本納含む (28種類)	29,858,920		
減価償却累計額	△27,169,619	2,689,301	
車両運搬具			
公用車1台(ホンダ ストリーム)	1,782,635		
減価償却累計額	△ 1,746,981	35,654	
什器備品			
事務機器等 (247類 1,170点)	62,145,828		
減価償却累計額	△58,479,549	3,666,279	
図書			
書物 (9,580冊)	29,983,061	29,983,061	
その他固定資産			
会館内LAN工事	1,056,699		
ホームページ関連費	1,371,720		
ソフトウェア (研修・会員管理システム等)	12,570,059		
減価償却累計額	△ 9,150,201	5,848,277	
電話加入権			
電話9台 245-1744			
245-1749			
247-5436 公衆電話			
248-7246 FAX用			
238-4261 他	717,086	717,086	
保証金			
警備保障契約保証金	50,000		
ナースセンター警備保証金	50,000	100,000	
リサイクル預託金			
公用車 リサイクル預託金	12,180	12,180	
その他固定資産合計		203,833,499	
固定資産合計			487,630,491
資産合計			488,660,681
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			488,660,681

特別会計（会館維持）収支計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

（単位：円）

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入	49,229,000	59,824,494	△10,595,494	
1 雑収入	3,330,000	3,110,494	219,506	
1 雑収入	3,330,000	3,110,494	219,506	
(1)受取利息収入	2,250,000	2,030,494	219,506	預金利息等
(2)雑収入	1,080,000	1,080,000	0	内部家賃収入(ちば訪問看護ST賃料相当)
2 他会計からの繰入金収入	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	
1 他会計からの繰入金収入	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	
(1)一般会計繰入金収入	45,899,000	56,714,000	△10,815,000	入会金相当額、ナースセンター管理費相当額
事業活動収入計	49,229,000	59,824,494	△10,595,494	
2 事業活動支出	27,754,876	27,423,718	331,158	
1 管理費支出	27,754,876	27,423,718	331,158	
1 ナースセンター管理費	7,459,000	7,525,419	△ 66,419	ナースセンター維持費
(1)光熱水料費	2,150,000	1,876,800	273,200	電気、ガス、上下水道料
(2)管理諸費	3,400,000	3,391,834	8,166	清掃料、警備保守料、各種機器保守料
(3)消耗什器備品費	150,000	364,665	△ 214,665	地デジ対応配線代、LAN配線代
(4)消耗品費	100,000	105,420	△ 5,420	
(5)賃借料	30,000	25,520	4,480	NHK受信料
(6)修繕費	1,600,000	1,736,190	△ 136,190	電話改修工事代、NC空調機修理代、トイレ水漏工事代等
(7)雑費	29,000	24,990	4,010	
2 看護会館管理費	20,295,876	19,898,299	397,577	看護会館維持費
(1)通信運搬費	1,050,000	1,001,639	48,361	電話料、受信料等
(2)光熱水料費	3,950,000	3,887,637	62,363	電気、ガス、上下水道料
(3)管理諸費	9,650,000	9,435,232	214,768	清掃料、警備保守料、各種機器保守料等
(4)消耗什器備品費	1,200,000	992,560	207,440	地デジ対応テレビ代、PC代、冷蔵庫代等
(5)消耗品費	100,000	32,383	67,617	事務用品等
(6)租税公課	1,500,000	1,555,600	△ 55,600	固定資産税、償却資産税、自動車税等
(7)修繕費	1,300,000	1,364,990	△ 64,990	会館敷地補修工事代、会館空調機修理代等
(8)賃借料	1,150,000	1,148,953	1,047	借地料、駐車場、電柱広告料
(9)保険料	60,000	204,156	△ 144,156	自動車保険料
(10)雑費	335,876	275,149	60,727	登記料等
事業活動支出計	27,754,876	27,423,718	331,158	
事業活動収支差額	21,474,124	32,400,776	△10,926,652	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	40,779,000	67,268,672	△26,489,672	
1 特定資産取崩収入	40,779,000	67,268,672	△26,489,672	
(1)会館維持積立資産取崩収入	36,979,000	63,468,672	△26,489,672	
(2)減価償却引当資産取崩収入	3,800,000	3,800,000	0	
投資活動収入計	40,779,000	67,268,672	△26,489,672	

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
2 投資活動支出	63,379,000	99,765,134	△36,386,134	
1 特定資産取得支出	56,979,000	94,625,788	△37,646,788	
(1)会館維持積立資産支出	36,979,000	62,357,143	△25,378,143	
(2)減価償却引当資産支出	20,000,000	32,268,645	△12,268,645	減価償却相当額の積立
2 固定資産取得支出	6,400,000	5,139,346	1,260,654	
(1)建物購入支出	750,000	752,975	△ 2,975	新規ガス設備設置代、地デジ配線代
(2)構築物購入支出	0	0	0	
(3)什器備品購入支出	2,850,000	2,852,200	△ 2,200	大研修室音響設備代、地デジ対応テレビ代
(4)図書購入支出	1,300,000	959,821	340,179	
(5)車両運搬具購入支出	0	0	0	
(6)その他固定資産購入支出	1,500,000	574,350	925,650	システム改修代
3 敷金保証金支出	0	0	0	
(1)保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	63,379,000	99,765,134	△36,386,134	
投資活動収支差額	△22,600,000	△32,496,462	9,896,462	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出				
1 予備費支出	0	0	0	
1 (1)予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,125,876	△ 95,686	△ 1,030,190	
前期繰越収支差額	1,125,876	1,125,876	0	
次期繰越収支差額	0	1,030,190	△ 1,030,190	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払費用、特別会計(収益事業)、特別会計(ステーション事業)及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	0	0
普通預金	0	0
前払費用	861,082	322,926
特別会計(収益事業)	126,951	121,780
特別会計(ステーション事業)	610,343	585,484
合 計	1,598,376	1,030,190
未払金	472,500	0
特別会計(ステーション事業)	0	0
合 計	472,500	0
次期繰越収支差額	1,125,876	1,030,190

特別会計（収益事業）貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	3,383,800	2,680,042	703,758
流動資産合計	3,383,800	2,680,042	703,758
資産合計	3,383,800	2,680,042	703,758
II 負債の部			
1. 流動負債			
一般会計	1,511,821	1,496,108	15,713
特別会計（会館維持）	121,780	126,951	△ 5,171
特別会計（ステーション事業）	0	0	0
流動負債合計	1,633,601	1,623,059	10,542
負債合計	1,633,601	1,623,059	10,542
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	1,750,199	1,056,983	693,216
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,750,199	1,056,983	693,216
負債及び正味財産合計	3,383,800	2,680,042	703,758

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

特別会計（収益事業）正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 事業収益	[6,171,206]	[3,209,716]	[2,961,490]
1 事業収益	(6,171,206)	(3,209,716)	(2,961,490)
(1) 受取手数料	5,505,111	2,560,246	2,944,865
(2) 雑収益	666,095	649,470	16,625
2 雑収益	[941]	[835]	[106]
1 雑収益	(941)	(835)	(106)
(1) 受取利息	941	835	106
経常収益計	6,172,147	3,210,551	2,961,596
(2) 経常費用			
1 事業費	[688,529]	[681,391]	[7,138]
(1) 会議費	479,758	475,531	4,227
(2) 通信運搬費	70,030	69,564	466
(3) 消耗品費	95,711	89,797	5,914
(4) 光熱水料費	43,030	46,499	△ 3,469
2 管理費	[1,490,402]	[1,512,332]	[△ 21,930]
(1) 役員報酬	316,250	312,500	3,750
(2) 給料手当	227,981	226,920	1,061
(3) 賞与	75,829	75,829	0
(4) 通勤費	12,984	12,984	0
(5) 福利厚生費	90,261	86,679	3,582
(6) 租税公課	460,392	489,013	△ 28,621
(7) 賃借料	126,000	126,000	0
(8) 管理諸費	180,705	182,407	△ 1,702

科 目	当年度	前年度	増 減
3 他会計への繰出額	[3,300,000]	[1,000,000]	[2,300,000]
(1) 一般会計への繰出額	3,300,000	1,000,000	2,300,000
經常費用計	5,478,931	3,193,723	2,285,208
当期經常増減額	693,216	16,828	676,388
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	693,216	16,828	676,388
一般正味財産期首残高	1,056,983	1,040,155	16,828
一般正味財産期末残高	1,750,199	1,056,983	693,216
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,750,199	1,056,983	693,216

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

①消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2 引当金の明細

該当なし

特別会計（収益事業）財産目録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金 千葉銀行 本店 (1口)	3,383,800		
流動資産合計		3,383,800	
資産合計			3,383,800
II 負債の部			
1. 流動負債			
一般会計			
一般会計に対する経費未払金	1,511,821		
特別会計(会館維持)			
特別会計(会館維持)に対する経費未払金	121,780		
流動負債合計		1,633,601	
負債合計			1,633,601
正味財産			1,750,199

特別会計（収益事業）収支計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入	5,702,000	6,172,147	△ 470,147	
1 事業収入	5,700,000	6,171,206	△ 471,206	
1 事業収入	5,700,000	6,171,206	△ 471,206	
(1) 手数料収入	5,000,000	5,505,111	△ 505,111	看護の日、看護学会出展料等 自販機管理料等
(2) 雑収入	700,000	666,095	33,905	
2 雑収入	2,000	941	1,059	
1 雑収入	2,000	941	1,059	
(1) 受取利息収入	2,000	941	1,059	
事業活動収入計	5,702,000	6,172,147	△ 470,147	
2 事業活動支出	4,020,000	5,478,931	△ 1,458,931	
1 事業費支出	740,000	688,529	51,471	
(1) 会議費	450,000	479,758	△ 29,758	会議諸費 公衆電話料 事務用品代
(2) 通信運搬費	80,000	70,030	9,970	
(3) 消耗品費	150,000	95,711	54,289	
(4) 光熱水料費	60,000	43,030	16,970	
2 管理費支出	2,280,000	1,490,402	789,598	
(1) 役員報酬	320,000	316,250	3,750	
(2) 給料手当	250,000	227,981	22,019	
(3) 賞与	90,000	75,829	14,171	
(4) 通勤費	40,000	12,984	27,016	
(5) 福利厚生費	100,000	90,261	9,739	
(6) 租税公課	800,000	460,392	339,608	法人税等 地代
(7) 賃借料	0	126,000	△ 126,000	
(8) 管理諸費	680,000	180,705	499,295	
3 他会計への繰入金支出	1,000,000	3,300,000	△ 2,300,000	
(1) 一般会計繰入金支出	1,000,000	3,300,000	△ 2,300,000	一般会計へ
事業活動支出計	4,020,000	5,478,931	△ 1,458,931	
事業活動収支差額	1,682,000	693,216	988,784	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出				
1 予備費支出	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	
当期収支差額	1,682,000	693,216	988,784	
前期繰越収支差額	1,056,983	1,056,983	0	
次期繰越収支差額	2,738,983	1,750,199	988,784	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、一般会計、特別会計(会館維持)、特別会計(ステーション事業)を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。”

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	0	0
普通預金	2,680,042	3,383,800
合 計	2,680,042	3,383,800
一般会計	1,496,108	1,511,821
特別会計(会館維持)	126,951	121,780
特別会計(ステーション事業)	0	0
合 計	1,623,059	1,633,601
次期繰越収支差額	1,056,983	1,750,199

特別会計（ちば訪問看護ステーション）貸借対照表

平成24年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	152,507	215,194	△ 62,687
普通預金	6,660,376	4,249,028	2,411,348
未収金	8,162,938	11,338,856	△ 3,175,918
前払費用	0	0	0
流動資産合計	14,975,821	15,803,078	△ 827,257
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	9,667,800	9,438,800	229,000
減価償却引当資産	8,500,000	8,000,000	500,000
特定資産合計	18,167,800	17,438,800	729,000
(2) その他固定資産			
構築物	1,875,507	1,875,507	0
車両運搬具	11,246,264	11,407,213	△ 160,949
什器備品	907,736	907,736	0
減価償却累計額	△ 13,029,083	△ 13,021,558	△ 7,525
電話加入権	218,374	218,374	0
保証金	10,000	10,000	0
リサイクル預託金	93,680	0	93,680
その他固定資産合計	1,322,478	1,397,272	△ 74,794
固定資産合計	19,490,278	18,836,072	654,206
資産合計	34,466,099	34,639,150	△ 173,051
II 負債の部			
1. 流動負債			
一般会計	1,681,060	1,658,399	22,661
特別会計（会館維持）	585,484	610,343	△ 24,859
預り金	155,170	227,708	△ 72,538
流動負債合計	2,421,714	2,496,450	△ 74,736
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,680,980	9,525,005	155,975
固定負債合計	9,680,980	9,525,005	155,975
負債合計	12,102,694	12,021,455	81,239
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	22,363,405	22,617,695	△ 254,290
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(18,167,800)	(17,438,800)	(729,000)
正味財産合計	22,363,405	22,617,695	△ 254,290
負債及び正味財産合計	34,466,099	34,639,150	△ 173,051

（注）前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

特別会計（ちば訪問看護ステーション）正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 事業収益	[57,372,924]	[67,237,677]	[△ 9,864,753]
1 訪問看護事業収益	(48,848,406)	(57,927,710)	(△ 9,079,304)
(1) 訪問看護療養費収益	42,801,908	49,487,509	△ 6,685,601
(2) 利用料収益	4,363,498	5,943,201	△ 1,579,703
1) 基本利用料収益	3,143,645	4,031,088	△ 887,443
2) その他の利用料収益	1,219,853	1,912,113	△ 692,260
(3) 治験収益	1,683,000	2,497,000	△ 814,000
2 居宅介護支援事業収益	(8,524,518)	(9,309,967)	(△ 785,449)
(1) 居宅介護支援サービス	8,523,518	9,307,967	△ 784,449
(2) その他の利用料収益	1,000	2,000	△ 1,000
2 雑収益	[503,436]	[459,152]	[44,284]
1 雑収益	(503,436)	(459,152)	(44,284)
(1) 受取利息	6,506	8,915	△ 2,409
(2) 雑収益	496,930	450,237	46,693
経常収益計	57,876,360	67,696,829	△ 9,820,469
(2) 経常費用			
1 事業費	[58,203,274]	[62,587,271]	[△ 4,383,997]
1 ちば訪問看護事業費	(47,037,444)	(50,487,782)	(△ 3,450,338)
(1) 役員報酬	744,270	741,466	2,804
(2) 給与手当	28,199,799	30,313,820	△ 2,114,021
(3) 賞与	4,545,849	5,862,100	△ 1,316,251
(4) 通勤費	563,439	577,770	△ 14,331
(5) 福利厚生費	5,213,928	5,448,042	△ 234,114
(6) 退職給付費用	1,626,975	1,775,765	△ 148,790
(7) 旅費交通費	134,162	107,667	26,495
(8) 通信運搬費	544,986	441,607	103,379
(9) 消耗什器備品費	10,143	7,980	2,163
(10) 消耗品費	302,031	238,311	63,720
(11) 看護材料購入費	213,676	292,401	△ 78,725
(12) 修繕費	360,013	725,183	△ 365,170
(13) 印刷製本費	157,008	164,622	△ 7,614
(14) 燃料費	457,415	466,813	△ 9,398
(15) 光熱水料費	190,297	191,405	△ 1,108
(16) 保険料	569,170	591,920	△ 22,750
(17) 諸謝金	0	0	0
(18) 租税公課	124,900	163,510	△ 38,610
(19) 支払負担金	35,000	35,000	0
(20) 管理諸費	733,297	503,813	229,484
(21) 賃借料	1,021,703	1,027,435	△ 5,732
(22) 減価償却費	1,163,369	552,643	610,726
(23) 雑費	126,014	258,509	△ 132,495

科 目	当年度	前年度	増 減
2 ちば居宅介護支援サービス	(11,165,830)	(12,099,489)	(△ 933,659)
(1) 役員報酬	129,882	124,534	5,348
(2) 給与手当	7,389,397	8,133,728	△ 744,331
(3) 賞与	1,550,140	1,765,516	△ 215,376
(4) 通勤費	87,360	77,059	10,301
(5) 福利厚生費	1,391,129	1,470,986	△ 79,857
(6) 旅費交通費	23,413	18,083	5,330
(7) 通信運搬費	95,106	74,171	20,935
(8) 消耗什器備品費	0	0	0
(9) 消耗品費	52,707	40,026	12,681
(10)印刷製本費	27,400	27,649	△ 249
(11)燃料費	79,823	78,405	1,418
(12)光熱水料費	33,209	32,148	1,061
(13)保険料	0	0	0
(14)租税公課	0	0	0
(15)負担金支出	0	0	0
(16)管理諸費	127,967	84,619	43,348
(17)賃借料	178,297	172,565	5,732
(18)雑費	0	0	0
経常費用計	58,203,274	62,587,271	△ 4,383,997
当期経常増減額	△ 326,914	5,109,558	△ 5,436,472
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
1 固定資産補正益	[83,800]	[0]	[83,800]
1 リサイクル預託金補正益	83,800	0	83,800
経常外収益計	83,800	0	83,800
(2) 経常外費用			
1 固定資産売却損	[11,176]	[0]	[11,176]
1 車両運搬具売却損	11,176	0	11,176
2 固定資産除却損	[0]	[45,589]	[△ 45,589]
1 什器備品除却損	0	28,075	△ 28,075
2 車両運搬具除却損	0	17,514	△ 17,514
経常外費用計	11,176	45,589	△ 34,413
当期経常外増減額	72,624	△ 45,589	118,213
当期一般正味財産増減額	△ 254,290	5,063,969	△ 5,318,259
一般正味財産期首残高	22,617,695	17,553,726	5,063,969
一般正味財産期末残高	22,363,405	22,617,695	△ 254,290
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,363,405	22,617,695	△ 254,290

(注)前年度の金額は平成23年3月末の決算数値を記載しております。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①構築物、車両運搬具、什器備品：定率法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

①退職給付引当金：当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

①消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	9,438,800	1,700,000	1,471,000	9,667,800
減価償却引当資産	8,000,000	500,000	0	8,500,000
小 計	17,438,800	2,200,000	1,471,000	18,167,800
合 計	17,438,800	2,200,000	1,471,000	18,167,800

3 基本財産及び特定資産の財源などの内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	9,667,800	0	9,667,800	9,667,800
減価償却引当資産	8,500,000	0	8,500,000	0
小 計	18,167,800	0	18,167,800	9,667,800
合 計	18,167,800	0	18,167,800	9,667,800

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,875,507	1,642,718	232,789
車両運搬具	11,246,264	10,527,611	718,653
什器備品	907,736	858,754	48,982
合 計	14,029,507	13,029,083	1,000,424

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2.に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,525,005	1,626,975	1,471,000	0	9,680,980

特別会計（ちば訪問看護ステーション）収支計算書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

（単位：円）

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入	59,120,000	57,876,360	1,243,640	
1 事業収入	59,010,000	57,372,924	1,637,076	
1 訪問看護事業収入	50,000,000	48,848,406	1,151,594	
(1) 訪問看護療養費収入	43,000,000	42,801,908	198,092	月59人 月415回（常勤換算5.7人）
(2) 利用料収入	5,700,000	4,363,498	1,336,502	
1) 基本利用料収入	3,800,000	3,143,645	656,355	
2) その他の利用料収入	1,900,000	1,219,853	680,147	加算料
(3) 治験収入	1,300,000	1,683,000	△ 383,000	2名分
2 居宅介護支援事業収入	9,010,000	8,524,518	485,482	
(1) 居宅介護支援サービス	9,000,000	8,523,518	476,482	月55人（常勤換算1.6人）
(2) その他の利用料収入	10,000	1,000	9,000	
2 雑収入	110,000	503,436	△ 393,436	
1 雑収入	110,000	503,436	△ 393,436	
(1) 受取利息収入	10,000	6,506	3,494	
(2) 雑収入	100,000	496,930	△ 396,930	看護実習謝礼
事業活動収入計	59,120,000	57,876,360	1,243,640	
2 事業活動支出	57,085,000	56,883,930	201,070	
1 事業費支出	57,085,000	56,883,930	201,070	
1 ちば訪問看護事業費	45,811,000	45,718,100	92,900	
(1) 役員報酬	735,000	744,270	△ 9,270	
(2) 給与手当	28,075,000	28,199,799	△ 124,799	常勤換算 5.7人
(3) 賞与	4,546,000	4,545,849	151	
(4) 通勤費	510,000	563,439	△ 53,439	
(5) 福利厚生費	5,030,000	5,213,928	△ 183,928	社会保険料、健康診断料、研修料等
(6) 退職金	1,471,000	1,471,000	0	退職者1名
(7) 旅費交通費	136,000	134,162	1,838	訪問時駐車場代、出張旅費等
(8) 通信運搬費	576,000	544,986	31,014	電話料、携帯電話料等
(9) 消耗什器備品費	300,000	10,143	289,857	足踏式吸引機代
(10) 消耗品費	237,000	302,031	△ 65,031	事務用品代等
(11) 看護材料購入費	240,000	213,676	26,324	看護材料代
(12) 修繕費	500,000	360,013	139,987	車検代等
(13) 印刷製本費	85,000	157,008	△ 72,008	封筒印刷代等
(14) 燃料費	491,000	457,415	33,585	ガソリン代
(15) 光熱水料費	204,000	190,297	13,703	電気、ガス、水道代
(16) 保険料	600,000	569,170	30,830	自動車保険料、傷害賠償保険料
(17) 諸謝金	0	0	0	
(18) 租税公課	140,000	124,900	15,100	軽自動車税等
(19) 負担金支出	40,000	35,000	5,000	協議会会費等
(20) 管理諸費	678,000	733,297	△ 55,297	事務所管理費 会計顧問料
(21) 賃借料	1,017,000	1,021,703	△ 4,703	会館利用料、月極駐車場代等
(22) 雑費	200,000	126,014	73,986	花代、クリーニング代等
2 ちば居宅介護支援サービス	11,274,000	11,165,830	108,170	
(1) 役員報酬	132,000	129,882	2,118	
(2) 給与手当	7,365,000	7,389,397	△ 24,397	常勤換算 1.6人
(3) 賞与	1,551,000	1,550,140	860	
(4) 通勤費	90,000	87,360	2,640	
(5) 福利厚生費	1,518,000	1,391,129	126,871	社会保険料、健康診断料、研修料等
(6) 旅費交通費	25,000	23,413	1,587	訪問時駐車場代、出張旅費等
(7) 通信運搬費	104,000	95,106	8,894	電話料、携帯電話料等
(8) 消耗什器備品費	0	0	0	
(9) 消耗品費	43,000	52,707	△ 9,707	事務用品代等
(10) 印刷製本費	15,000	27,400	△ 12,400	封筒印刷代等
(11) 燃料費	89,000	79,823	9,177	ガソリン代
(12) 光熱水料費	37,000	33,209	3,791	電気、ガス、水道代
(13) 保険料	0	0	0	
(14) 租税公課	0	0	0	
(15) 負担金支出	0	0	0	
(16) 管理諸費	122,000	127,967	△ 5,967	事務所管理費、会計顧問料
(17) 賃借料	183,000	178,297	4,703	会館利用料等
(18) 雑費	0	0	0	
事業活動支出計	57,085,000	56,883,930	201,070	
事業活動収支差額	2,035,000	992,430	1,042,570	

科 目	23年度予算額	23年度決算額	増	減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部					
1 投資活動収入	1,471,500	1,471,500		0	
1 特定資産取崩収入	1,471,000	1,471,000		0	
(1)退職給付引当資産取崩収入	1,471,000	1,471,000		0	退職者1名
(2)減価償却引当資産取崩収入	0	0		0	
2 固定資産売却収入	500	500		0	
(1)車両運搬具売却収入	500	500		0	
投資活動収入計	1,471,500	1,471,500		0	
2 投資活動支出	3,216,880	3,216,451		429	
1 特定資産取得支出	2,200,000	2,200,000		0	
(1)退職給付引当資産支出	1,700,000	1,700,000		0	退職金引当
(2)減価償却引当資産支出	500,000	500,000		0	資産取得資金(訪問用車両)積立
2 固定資産取得支出	1,007,000	1,006,571		429	
(1)什器備品購入支出	0	0		0	
(2)車両運搬具購入支出	1,007,000	1,006,571		429	訪問用車両購入代 1台分
3 敷金保証金支出	9,880	9,880		0	
(1)保証金支出	0	0		0	
(2)リサイクル預託金支出	9,880	9,880		0	新車購入時リサイクル預託金
投資活動支出計	3,216,880	3,216,451		429	
投資活動収支差額	△1,745,380	△1,744,951		△ 429	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0		0	
2 財務活動支出	0	0		0	
Ⅳ 予備費支出					
1 予備費支出	0	0		0	
1 予備費	0	0		0	
当期収支差額	289,620	△ 752,521		1,042,141	
前期繰越収支差額	13,306,628	13,306,628		0	
次期繰越収支差額	13,596,248	12,554,107		1,042,141	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払費用、未払金、一般会計、特別会計(会館維持)、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	215,194	152,507
普通預金	4,249,028	6,660,376
未収金	11,338,856	8,162,938
前払費用	0	0
合 計	15,803,078	14,975,821
未払金	0	0
一般会計	1,658,399	1,681,060
特別会計(会館維持)	610,343	585,484
預り金	227,708	155,170
合 計	2,496,450	2,421,714
次期繰越収支差額	13,306,628	12,554,107

独立監査人の監査報告書

平成24年4月23日

公益社団法人 千葉県看護協会

会長 松永 敏子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋良弘

私は、社団法人千葉県看護協会の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度の計算書類、すなわち、一般会計並びに特別会計の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録および収支計算書について監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、社団法人千葉県看護協会の平成23年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 千葉県看護協会
会 長 松永 敏子 様

平成23年度における社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、一般会計、特別会計の管理、執行状況について監査を行ったので報告する。

監査は、第1回を平成23年10月26日に、第2回を平成24年4月27日に実施したものである。

監査の方法は、次のとおりである。

- 1 業務に関する事項については、事業実績に関する調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告と説明を受け、関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関する事項については、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告と説明を受け、また公認会計士からの報告を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査の結果、業務執行及び財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成24年4月27日

監 事 清水延郎

監 事 伊藤和子

第2号議案 平成24年度役員等の選出について

- 1 定款第21条（役員）及び選挙運営規則第2条、役員を選任に関する規程第2条の規定により、本日の総会において平成24年度改選役員等の選挙を執行し、選挙の結果をもって役員等の選任とする。
- 2 選挙運営規則第7条の規定により選挙管理委員を指名する。

選挙（役員等候補者）

役員等（会長、副会長、監事）

選出数 1名 会長候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
会長	推薦	松永敏子	保健師	千葉県看護協会

選出数 1名 副会長候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
副会長	推薦	石渡祥子	看護師	成田赤十字病院

選出数 1名 監事候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
監事	推薦	小川久子	看護師	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院

役員等（理事、推薦委員）

選出数 8名 理事候補者数 9名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
理事 (常任理事)	推薦	杉本龍子	看護師	公益社団法人 千葉県看護協会
理事 (常任理事)	推薦	星野恵美子	看護師	在宅
理事 (常任理事)	推薦	寺口恵子	看護師	東邦大学医療センター 佐倉病院
理事	推薦	大木信子	保健師	国保匠瑳市民病院
理事	推薦	平山真理子	看護師	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
理事	推薦	長谷川美穂	看護師	社会保険 船橋中央病院
理事	推薦	泉山明美	看護師	訪問看護ステーション ゆうこう
理事	推薦	村杉由美	准看護師	公立長生病院
理事	立候補	大谷洋子	看護師	医療法人財団東京勤労 者医療会東葛病院

選出数 7名 推薦委員候補 8名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
推薦委員	推薦	安田典代	保健師	千葉県 安房健康福祉センター
推薦委員	推薦	富樫嘉子	助産師	医療法人社団保健会 谷津保健病院
推薦委員	推薦	神山敦子	看護師	独立行政法人労働者 福祉機構千葉労災病院
推薦委員	推薦	岡崎弘子	看護師	医療法人新都市医療研究会 君津会立々堂君津病院
推薦委員	推薦	今野恵美子	看護師	千葉市立海浜病院
推薦委員	推薦	上原文子	看護師	千葉県立東金病院
推薦委員	推薦	神尚子	看護師	日本大学松戸歯学部 付属病院
推薦委員	立候補	佃八重子	看護師	千葉県勤労者 医療協会北部診療所

第 3 号議案 平成24年度千葉県看護協会スローガンについて

「看護の専門性と

職能団体としての力を発揮し、

県民の健康な生活を支えよう」

第 4 号議案 平成25年度(公社)日本看護協会通常総会代議員の選出について

(資料別添)

報 告 事 項

平成24年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成24年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

平成24年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画について

各事業の実施計画について報告する。

なお、項目は新定款第4条の事業に基づき区分しました。

(単位：千円)

項目	目的	事業(新規事業：下線)	内 容	予 算
教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	より高度化・多様化する医療現場に即応できる看護師等の基本的、専門的技術を向上させるために、必要な知識と技術を修得させる	1.生涯教育	(1)60コース ①資格認定教育 4コース ・認定看護管理者制度教育課程 (ファースト・セカンド教育課程) ・医療安全管理者養成研修 ・心肺蘇生法トレーニングコース (BLS) ②ステップアップ教育 21コース ・段階別研修(新人 2年目 中堅 管理者等) ・領域別研修(感染 災害 がん 認知症等) ③看護実践教育 35コース (2)千葉県委託研修(再掲) 12コース ①新人看護職員研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤中堅看護職員スキルアップ研修 (感染症管理・がん看護) ⑥認知症看護指導者研修 ⑦自殺予防対策研修 (うつの早期発見・うつ傾向患者の関わり方) ⑧障害児支援等訪問看護研修 ⑨助産外来開設講座 ⑩退院支援研修(地域医療再生計画事業) (3)新たな生涯教育の検討	82,300
		2.千葉県看護研究学会	(1)第31回千葉県看護研究学会 (2)看護研究学会への取組み支援 ①初めて取り組む看護研究Ⅰ・Ⅱ(再掲) ②看護研究個別支援(再掲)	
		3.図書室の管理運営	(1)図書の管理運営 (2)資料・文献検索の支援	
		4.教育委員会	(1)教育委員会の開催 年6回	

項目	目的	事業(新規事業:下線)	内容	予算
看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	県内に働く看護職の確保を図るとともに、専門性を発揮しワーク・ライフ・バランスを踏まえた働き続けられるための環境づくりを推進する	1.第2次千葉県看護職確保・定着推進計画の普及・推進 2.第3次千葉県看護職確保・定着推進計画の策定	(1)千葉県看護職確保・定着推進計画の推進 (2)看護職確保定着対策協議会の開催 (3)看護職確保定着対策事業の普及啓発 ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (1)看護職確保定着推進計画策定作業部会の開催 (2)看護職確保定着対策協議会の開催(再掲)	
		3.看護職の労働環境の向上	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進ワークショップ事業 ・WLB推進部会の開催 ・労働環境調査 WLB推進ワークショップ、フォローアップの開催 ②多様な勤務形態導入支援事業(千葉県委託) ・多様な勤務形態導入研修事業 ・就業環境改善相談事業 ・アドバイザー派遣事業	
		4.看護学生の職場選択の支援	(1)合同就職説明会の開催	
		5.看護進路相談事業	(1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業	
		6.ナースセンター事業(千葉県委託)	(1)看護職の確保定着に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)未就業看護職の就業支援 ①病院派遣型看護職再就業講習会の開催 ②看護職への求人情報の提供 ③未就業看護職の掘り起こし (4)ナースセンター運営委員会の開催 (5)就業協力員部会の開催 (6)ナースセンター事業の広報 (7)日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所との連携 (8)就業看護職への相談支援 (9)「看護の日」「看護週間」事業(再掲) (10)看護進路相談事業(再掲) (11)ナースセンターの維持管理	
		7.労働環境改善委員会	(1)労働環境改善委員会の開催 年6回	
		8.医療・看護における安全対策	(1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	

項目	目的	事業(新規事業:下線)	内容	予算
訪問看護の推進に関する事業	質の高い訪問看護を安定的に提供するために、訪問看護の実施体制の整備・強化を図るとともに、県民に対する訪問看護の普及啓発を行う	<p>1.訪問看護推進事業 (千葉県委託)</p> <p>2.訪問看護ヘルプセンターちば事業</p> <p>3.訪問看護実践センター事業 (千葉県委託・補助事業) (地域医療再生計画事業)</p> <p>4.関係機関との連携</p>	<p>(1)訪問看護推進協議会の開催</p> <p>(2)訪問看護に関する総合相談の開催</p> <p>(3)訪問看護の普及啓発 ①地域連携フォーラムの開催 ②リーフレットの改訂・配布</p> <p>(1)ネットワークの拡大</p> <p>(2)請求事務等の支援</p> <p>(1)検討委員会の設置・開催</p> <p>(2)人材の育成 ①訪問看護師養成研修 ②訪問看護師スキルアップ研修 ③訪問看護実習指導者研修 ④退院支援研修(再掲)</p> <p>(3)小規模訪問看護ステーションの支援 ①ステーションの管理運営に関する支援 ②IT化の促進 ③経営診断支援 ④コールセンターの設置検討 ⑤サテライトの設置支援</p> <p>(4)訪問看護に関する調査研究</p> <p>(1)日本看護協会、全国訪問看護事業協会等との連携</p> <p>(2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携</p>	132,547
県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護について県民の関心と理解を深め、県民一人ひとりの健康への意識を高める。また、非常災害発生時には、関係機関と連携し、即時災害救護活動を行う	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>2.「まちの保健室」事業</p> <p>3.自殺予防対策事業 (千葉県補助事業)</p>	<p>(1)第22回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】いのちを支える看護の魅力 【月 日】平成24年5月12日(土) ①中央行事 場所:千葉市生涯学習センター ②地区部会行事 場所:12地区部会 ③ふれあい看護体験事業(再掲) ④実行委員会の開催</p> <p>(1)常設型の充実</p> <p>(2)イベント型の積極的な開催</p> <p>(1)心の総合相談窓口</p> <p>(2)自殺予防に関する広報</p> <p>(3)研修会の開催(再掲) ・「一般外来におけるうつ早期発見と対応のポイント」 ・「うつ傾向にある患者への関わり方」</p>	

項目	目的	事業(新規事業:下線)	内容	予算
県民の健康・福祉の増進に関する事業		4.たばこ対策事業	(1)禁煙のための相談支援 (2)たばこによる健康被害の普及啓発(ちば県民保健予防財団助成事業) ①普及啓発運営委員会の開催 ②看護学校における普及啓発の推進 ・看護教員への禁煙指導研修会の開催 ・看護学生による地域住民等への健康教育 ③新人看護職への普及啓発 (3)禁煙指導者の育成(再掲)	37,342
		5.災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②「3・11」県内施設合同防災訓練 ③災害時における日本看護協会及び各都道府県看護協会との連携 ④災害時における千葉県・市町村と関係機関の連携 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録・管理 ②災害支援ナースの派遣調整 ③災害支援ナース派遣マニュアルの普及 ④災害時必要物品の管理 (3)災害救護支援ナースの育成(再掲) (4)高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業(千葉県委託事業)	
		6.千葉県小児救急電話相談事業 (千葉県医師会との共同事業)	(1)相談員の登録・派遣 (2)相談員の勤務調整 (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席	
		7.関係機関・他団体への協力	(1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	
看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	保健師・助産師・看護師それぞれの専門領域における調査研究等を通して看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する	1.職能委員会 2.職能集会・交流会 3.県行政等への要望・意見具申 4.看護関連施策に対する提言	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会 年6回程度 (4)三職能合同委員会 年1回 (1)各職能別集会 (2)各職能別交流会 (1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)千葉県医療審議会等への参画 (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進	6,568

項目	目的	事業(新規事業:下線)	内容	予算
指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する	1.訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 (4)実績評価会議	57,799
		2.居宅介護支援事業	(1)質の高いケアプランの提供 (2)利用者の申請代行 (3)地域のネットワークづくり	
		3.訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	
		4.地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション運営会議 年4回 (3)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (4)サテライトの設置	
		5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加 (2)利用者確保のための広報活動	
		6.職員の資質の向上	(1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	
その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、協会の運営等を効果的・効率的に行う	1.地区部会活動事業	(1)会議・研修会の開催 ①研修会 年3回 ②役員会 年5回程度 ③連絡会 年2回以内 (2)看護職確保定着対策の推進 ①就業協力員活動 (3)会員増の促進(再掲) (4)地域住民に対する健康相談・教育(再掲) ①まちの保健室の開催 ②「看護の日」「看護週間」事業 (5)地区部会事業・先駆的事业 ①地区部会における課題を解決するための事業 ②協会事業モデル地区としての事業 (6)地域ネットワークづくりの推進 ①市町村及び関係機関との連携 ②地域の保健医療政策への提言 ③三職能委員会・常任委員会等との連携	10,119
		1.情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 ②ホームページによる看護等の情報発信 ③協会パンフレット等の作成 (2)県民に対する健康情報等の提供 (3)広報委員会の開催 年6回	10,570
		公益目的事業共通		

項目	目的	事業(新規事業:下線)	内容	予算
その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、協会の運営等を効果的・効率的に行う	1.組織運営に関する会議等の開催	(1)総会 年1回 ①日時:平成24年6月15日(金) ②場所:アパホテル東京ベイ幕張 (2)理事会 年6回 (3)施設等会員代表者会 年2回以上 (4)地区部会長会 年3回 (5)保助看護能委員会 年6回程度 (6)推薦委員会 (7)常任委員会 年6回(再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携	85,384
		2.千葉県看護協会創立30周年記念事業	(1)記念式典 ①日時:平成24年6月15日(金) ②場所:アパホテル東京ベイ幕張 (2)記念誌の発行 ①刊行委員会の開催	
		3.会員サービス・福祉の充実	(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病氣見舞い (4)災害時の支援	
		4.会員増の促進	(1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師の入会促進 (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増促進委員会の開催 年6回	
		5.公益社団法人移行に伴う事務	(1)名称変更に伴う諸手続き (2)名称変更に伴う印刷物等の作成 (3)関連諸規程等の改正	
		6.日本看護協会との連携	(1)法人委員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員の選出	
		7.行政等との連携	(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援	
		8.役員・職員の資質の向上と福利厚生	(1)研修の実施 (2)健康診断の実施	
		9.看護会館の維持に関する事業	(1)会館の保全 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防設備等の点検 ・設備の整備、点検 ②環境整備 ・エコの積極的な取り組み (2)協会PCの規格統一	

平成24年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

1 公益法人制度の改正と会計方式の変更

(1) 平成24年度から、法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用することにより、「損益ベース」の収支予算書で構成することとなる。

* 「20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年施行）

(2) 受取入金及び受取年会費については、制度上、原則として50%以上を「公益目的事業会計」に計上する必要がある。

(3) 予算は、公益社団法人の認定要件である財務3基準を充たす必要があるが、本予算はいずれの基準もクリアーしている。

- ① 公益目的事業に係る収入が事業に要する費用を超えない（収支相償の原則）
- ② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上であること（50%ルール）
- ③ 用途を定めない財産（予算）が保有制限額を超えない（遊休財産の規制）

2 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益認定の基本となる公益目的事業を重視し、定款第3条の目的に従い、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に重点事業を設定し、また個別事業ごとにその内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成した。

3 予算の区分等

(1) 平成24年度収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分で構成する。

(2) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）に掲げる7つの事業に区分される。

(3) 「収益事業等会計」は、収益事業として、「施設の貸与等事業」、行事に際して出展・図書販売等の事業者に対する「販売手数料等事業」、また共益事業として会員の表彰、慶弔見舞金等に関する「福利厚生等に関する事業」の3つに区分される。

(4) 受取入金及び受取年会費は、公益事業会計と法人会計に二分し、各々に50%を計上しているが、実際の子算執行にあつては、公益目的事業に配分していくものである。

4 予算の概要

(1) 概況

① 予算の全体規模は、収益(収入)で4.6億円(対前年比125%)、費用(支出)で4.7億円(対前年比134%)であり、平成23年度と比較すると増加している。主な理由は、新規事業として、千葉県からの委託事業・訪問看護実践センター事業(1億2000万円)、協会創立30周年事業(700万円)等がある。

② 会計区分ごとの費用(支出予算)の構成は、次のとおりである。

公益目的事業会計	394,080千円(82.2%)
収益事業等会計	1,848千円(0.4%)
法人会計	83,536千円(17.4%)
合計	479,464千円(100%)

(2) 予算編成の特記事項

- ① 受取入金及び受取年会費については、平成23年度の会員数をベースとして、新規入会数2,400人、会員数22,800人を見込み算定している。
- ② 県等他団体からの委託・補助等事業については、各団体から提示されている見込み額をもとに予算を計上している。
- ③ 千葉県からの新規委託事業・訪問看護実践センター事業(1.2億円)は、現在、県の事業細目毎の経費配分が未確定であるため、当面の措置として、経常費用の部において、雑費(その他の経費)に一括計上しているが、今後事業内容の具体化に伴い、各科目に配分する予定としている。

平成24年度予算 収益の性質別構成比率

(単位：千円) (%)

会計区分	科目	予算額	構成比率	
公益目的事業会計	受取入会金	14,400	3.09%	
	受取年会費	68,400	14.67%	
	教育研修会参加料	53,000	11.36%	
	事業委託料収益	看護職員の資質向上研修事業委託料	8,070	1.73%
		多様な勤務形態導入支援事業委託料	2,180	0.47%
		ナースセンター事業委託料 (管理委託料含む)	30,604	6.56%
		訪問看護推進事業委託料	126,180	27.05%
		高齢者等見守支援事業委託料	6,000	1.29%
		小児救急電話相談事業委託料	1,090	0.23%
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	55,120	11.82%	
	受取補助金等	14,640	3.14%	
	雑収益	320	0.07%	
公益目的事業 計		380,004	81.47%	
収益事業等会計	施設の貸与等事業	500	0.11%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	110	0.02%	
	収益事業等 計	610	0.13%	
法人会計	受取入会金	14,400	3.09%	
	受取年会費	68,400	14.67%	
	その他	3,000	0.64%	
	法人会計 計	85,800	18.40%	
経常収益計		466,414	100.00%	

(単位：千円)

経常収益計	466,414
経常費用計	479,464
当期経常増減額	-13,050
正味財産期首残高	617,917
正味財産期末残高	604,867

平成24年度予算 費用の事業別構成比率

会計区分		定款事業		予算額	構成比率
				(単位:千円)	(%)
公益目的事業	① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	73,050	15.2%
			千葉県看護研究学会		
			図書室の管理運営		
			教育委員会		
		資質向上(県)	生涯教育(県委託)	9,250	1.9%
		小計		82,300	17.2%
	② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第2次看護職確保・定着推進計画の普及推進	11,281	2.4%
			第3次看護職確保・定着推進計画の策定		
			看護職の労働環境の向上		
			看護学生の職場選択の支援		
			看護進路相談事業		
			労働環境改善委員会	30,846	6.4%
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(県委託)		
		医療看護安全	医療・看護安全に関する相談支援、情報提供		
	医療安全推進週間の推進				
	医療安全管理者の育成(交流会)				
		関係機関等との連携促進	50,584	10.6%	
		医療安全委員会			
		小計		50,584	10.6%
	③ 訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護サポートセンターちば事業	5,178	1.1%
			関係機関との連携		
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(県委託)	127,369	26.6%
			訪問看護実践センター事業(県委託・補助事業、地域医療再生計画事業)		
		小計		132,547	27.6%
	④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	24,055	5.0%
			「まちの保健室」事業		
たばこ対策事業					
千葉県小児救急電話相談事業					
関係機関・他団体への協力					
		自殺予防対策事業(県補助)	13,287	2.8%	
災害救護対策		災害時の支援ネットワークの強化			
		災害に備えた支援体制の整備			
	高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業	37,342	7.8%		
	小計		37,342	7.8%	
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	4,743	1.0%	
		職能集会・交流会			
	看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,825	0.4%	
看護関連政策に対する提言					
	小計		6,568	1.4%	
⑦ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	会議・研修会の開催	10,119	2.1%	
		看護職確保定着対策の推進			
		地区部会事業・先駆的事业			
		地域ネットワークづくりの推進			
	広報	機関誌「看護ちば」の発行	10,570	2.2%	
		ホームページの充実			
		協会パンフレット等の作成			
		県民に対する健康情報等の提供			
	広報委員会	6,251	1.3%		
公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費				
	小計		26,940	5.6%	
⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	57,799	12.1%	
		居宅介護支援事業			
		訪問看護の普及			
		地域のニーズに応じた運営体制の整備			
		医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携			
		職員の資質の向上			
	小計		57,799	12.1%	
	公益目的事業 計			394,080	82.2%
収益事業等	施設の貸与等事業に伴う事業費		469	0.1%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		172	0.0%	
	会員福祉事業に伴う事業費		1,207	0.3%	
	収益事業等 計		1,848	0.4%	
法人会計	管理費等		83,536	17.4%	
	法人会計 計		83,536	17.4%	
	経常費用 計			479,464	100.0%

平成24年度予算案 正味財産増減計算書(1)

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	1,125	1,125
③受取入金	14,400	0	0	0	0	14,400	28,800
④受取会費	68,400	0	0	0	0	68,400	136,800
⑤事業収益	282,244	0	0	0	0	1,700	283,944
イ) 研修会参加料	53,000	0	0	0	0	0	53,000
教育研修会参加料	53,000				0	0	53,000
ロ) 事業委託料収入	174,124	0	0	0	0	1,700	175,824
看護職員の資質向上研修事業委託料	8,070				0	0	8,070
多様な勤務形態導入支援事業委託料	2,180				0	0	2,180
ナースセンター事業委託料	24,615				0	0	24,615
ナースセンター会館管理委託料	5,989				0	0	5,989
訪問看護推進事業委託料	126,180				0	0	126,180
高齢者等見守り支援事業委託料	6,000				0	0	6,000
小児救急電話相談事業委託料	1,090				0	0	1,090
日本看護協会委託料	0				0	1,700	1,700
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収入	55,120	0	0	0	0	0	55,120
訪問看護療養費収益	39,750				0	0	39,750
基本利用料収益	3,500				0	0	3,500
その他の利用料収益 (訪看)	1,750				0	0	1,750
治験収益	1,100				0	0	1,100
居宅介護支援事業収益	9,000				0	0	9,000
その他の利用料収益 (居宅)	10				0	0	10
受取利息	10				0	0	10
雑収益 (訪問・居宅)	0				0	0	0
⑥受取補助金等	14,640	0	0	0	0	0	14,640
自殺予防対策事業 (千葉県補助金)	4,340				0	0	4,340
日本看護協会助成金	10,000				0	0	10,000
看護学生への禁煙モデル事業助成金	300				0	0	300
⑦雑収益	320	500	110	0	610	175	1,105
受取利息	0				0	175	175
受取手数料	20				0	0	20
雑収益	300	500	110	0	610	0	910
経常収益計	380,004	500	110	0	610	85,800	466,414

平成24年度予算案 正味財産増減計算書(2)

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計	
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計		
(2) 経常費用							
役員報酬	23,992	45	45	69	159	2,865	27,016
給料手当	89,084	69	69	274	412	16,797	106,293
賞与	17,416	18	18	73	109	4,453	21,978
通勤手当	4,242	5	5	19	29	1,059	5,330
退職給付費用	6,200	6	6	25	37	1,411	7,648
福利厚生費	19,564	17	17	68	102	3,782	23,448
旅費交通費	5,766				0	6,400	12,166
通信運搬費	7,611				0	4,276	11,887
減価償却費	10,434	308	6	36	350	5,696	16,480
消耗什器備品費	316			1	1	32	349
消耗品費	4,400				0	2,516	6,916
修繕費	1,216			2	2	493	1,711
印刷製本費	13,106				0	8,750	21,856
燃料費	577				0	0	577
光熱水料費	4,128			9	9	2,079	6,216
賃借料	10,061			2	2	1,716	11,779
保険料	719			1	1	328	1,048
諸謝金	24,766				0	850	25,616
租税公課	927		5	3	8	7,125	8,060
支払負担金	35				0	0	35
看護材料購入費	236				0	0	236
管理諸費	9,707	1	1	25	27	8,653	18,387
交際費	0				0	350	350
図書費	0				0	0	0
雑費	139,577			600	600	3,905	144,082
経常費用計	394,080	469	172	1,207	1,848	83,536	479,464
当期経常増減額	△ 14,076	31	△ 62	△ 1,207	△ 1,238	2,264	△ 13,050
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,076	31	△ 62	△ 1,207	△ 1,238	2,264	△ 13,050
一般正味財産期首残高	198,899	5,211	1,463	914	7,588	411,430	617,917
一般正味財産期末残高	184,823	5,242	1,401	△ 293	6,350	413,694	604,867
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0				0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	184,823	5,242	1,401	△ 293	6,350	413,694	604,867

平成24年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

(単位:千円)

	公益目的事業会計						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、 就業促進等により、看護師等の 人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪問看護	訪問看護(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0
③受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
④受取会費	0	0	0	0	0	0	0
⑤事業収益	53,000	8,070	2,180	30,604	0	0	126,180
イ) 研修会参加料	53,000	0	0	0	0	0	0
教育研修会参加料	53,000						
ロ) 事業委託料収入	0	8,070	2,180	30,604	0	0	126,180
看護職員の資質向上研修事業委託料		8,070					
多様な勤務形態導入支援事業委託料			2,180				
ナースセンター事業委託料				24,615			
ナースセンター会館管理委託料				5,989			
訪問看護推進事業委託料							126,180
高齢者等見守支援事業委託料							
小児救急電話相談事業委託料							
日本看護協会委託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益(訪問)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益(居宅)							
受取利息							
雑収益(訪問・居宅)							
⑥受取補助金等	10,000	0	0	0	0	0	0
自殺予防対策事業(千葉県補助金)							
日本看護協会助成金	10,000						
看護学生への禁煙モデル事業助成金							
⑦雑収益	20	0	0	0	0	0	0
受取利息							
受取手数料	20						
雑収益							
経常収益計	63,020	8,070	2,180	30,604	0	0	126,180

公益目的事業会計

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
								訪問看護	居宅介護		
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	14,400	14,400	0	0	0	14,400
0	0	0	0	0	0	68,400	68,400	0	0	0	68,400
1,090	6,000	0	0	0	0	0	227,124	46,110	9,010	55,120	282,244
0	0	0	0	0	0	0	53,000	0	0	0	53,000
							53,000			0	53,000
1,090	6,000	0	0	0	0	0	174,124	0	0	0	174,124
							8,070			0	8,070
							2,180			0	2,180
							24,615			0	24,615
							5,989			0	5,989
							126,180			0	126,180
	6,000						6,000			0	6,000
1,090							1,090			0	1,090
							0			0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	46,110	9,010	55,120	55,120
							0	39,750		39,750	39,750
							0	3,500		3,500	3,500
							0	1,750		1,750	1,750
							0	1,100		1,100	1,100
							0		9,000	9,000	9,000
							0		10	10	10
							0	10		10	10
							0	0	0	0	0
4,640	0	0	0	0	0	0	14,640	0	0	0	14,640
4,340							4,340			0	4,340
							10,000			0	10,000
300							300			0	300
0	0	0	0	200	0	0	220	0	100	100	320
							0			0	0
							20			0	20
				200			200		100	100	300
5,730	6,000	0	0	200	0	82,800	324,784	46,110	9,110	55,220	380,004

平成24年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計						
	1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪問推進	訪問推進(県)
(2) 経常費用							
役員報酬	5,390		1,216	2,387	1,195	1,019	1,631
給料手当	17,934	2,428	2,082	12,555	2,194	1,577	2,057
賞与	5,398		745		582	418	545
通勤手当	1,354		453	348	172	129	176
退職給付費用	1,805		604		229	172	235
福利厚生費	4,838		318	2,543	613	460	630
旅費交通費	220	107	370	206	100	60	421
通信運搬費	1,930	426	150	861	170	400	270
減価償却費	4,670		416		190	146	198
消耗什器備品費	35	7	14	150	5	4	5
消耗品費	2,017	518	7	188	223	37	118
修繕費	342	23	6	236	6	5	6
印刷製本費	2,992	539	840	1,709	400		368
燃料費							
光熱水料費	1,442	96	24	2,000	24	20	25
賃借料	2,093	351	2,006	2,641	907	6	83
保険料	89	6	1		1	1	2
諸謝金	12,487	3,813	1,730	1,576	970		520
租税公課	537	36	9		9	8	9
支払負担金							
看護材料購入費							
管理諸費	3,990	266	65	3,396	67	56	70
交際費							
図書費							
雑費	3,487	634	225	50	400	660	120,000
経常費用計	73,050	9,250	11,281	30,846	8,457	5,178	127,369
当期経常増減額	△ 10,030	△ 1,180	△ 9,101	△ 242	△ 8,457	△ 5,178	△ 1,189
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,030	△ 1,180	△ 9,101	△ 242	△ 8,457	△ 5,178	△ 1,189
一般正味財産期首残高							
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高							
III 正味財産期末残高							

公益目的事業会計

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,629	1,022	443	816	1,007	1,437	1,901	22,093	1,334	565	1,899	23,992
5,553	2,400	1,371	69	1,234	2,400		53,854	26,037	9,193	35,230	89,084
1,472	636	363	18	327	636		11,140	4,636	1,640	6,276	17,416
415	176	95	33	110	191		3,652	430	160	590	4,242
553	235	127	44	146	254		4,404	1,320	476	1,796	6,200
1,482	630	341	119	392	681		13,047	4,798	1,719	6,517	19,564
1,778	70	336		1,802	129	52	5,651	85	30	115	5,766
545	200	213		836	608	617	7,226	285	100	385	7,611
432	194	114	58	124	192	2,930	9,664	570	200	770	10,434
13	5	3	1	3	6	65	316			0	316
252	423	31	1	288	3	32	4,138	194	68	262	4,400
10	6	4	3	4	4	271	926	215	75	290	1,216
1,408		540		236	3,948		12,980	93	33	126	13,106
							0	427	150	577	577
43	24	18	14	16	18	19	3,783	250	95	345	4,128
1,371	6	5	4	364	5	5	9,847	157	57	214	10,061
3	1	1	1	1	1	226	334	285	100	385	719
1,562		628		1,480			24,766			0	24,766
16	9	7	5	6	7	79	737	140	50	190	927
							0	26	9	35	35
							0	236		236	236
120	65	50	39	43	50	54	8,331	1,003	373	1,376	9,707
							0			0	0
							0			0	0
4,398	7,185	53	600	1,700			139,392	137	48	185	139,577
24,055	13,287	4,743	1,825	10,119	10,570	6,251	336,281	42,658	15,141	57,799	394,080
△ 18,325	△ 7,287	△ 4,743	△ 1,825	△ 9,919	△ 10,570	76,549	△ 11,497	3,452	△ 6,031	△ 2,579	△ 14,076
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
△ 18,325	△ 7,287	△ 4,743	△ 1,825	△ 9,919	△ 10,570	76,549	△ 11,497	3,452	△ 6,031	△ 2,579	△ 14,076
							176,536			22,363	198,899
							165,039			19,784	184,823
							0			0	0
							0			0	0
							165,039			19,784	184,823

理事会報告

会長 松永敏子

1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	平成23年4月14日	18	3	千葉県看護会館
第2回	平成23年6月14日	17	1	千葉県看護会館
第3回	平成23年7月14日	15	2	千葉県看護会館
第4回	平成23年9月15日	17	1	千葉県看護会館
第5回	平成23年11月10日	18	1	千葉県看護会館
第6回	平成23年12月8日	17	2	千葉県看護会館
第7回	平成24年1月12日	16	2	千葉県看護会館
第8回	平成24年3月8日	16	1	千葉県看護会館

2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	平成23年 4月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度5月通常総会について 平成23年度5月通常総会の議案（公益社団法人関係）について 平成23年度改選役員について 平成23年度千葉県看護協会の運営について 平成23年度千葉県看護協会会長表彰について 「訪問看護サポートセンターちば」の設置について 地区部会研修参加費について 	<ul style="list-style-type: none"> 原案どおり承認 賛助会員については引き続き検討を行う事としたうえで、原案どおり承認 原案どおり承認 印旛地区幹事1名については決まり次第報告するとしたうえで、原案どおり承認 保留16施設に係る表彰対象者については、今後検討のうえ適宜対応する事としたうえで、原案どおり承認 次回役員会までに細部を詰めて、改めて検討することとなった 原案どおり承認
第2回	6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度千葉県看護協会の運営について 平成24年度予算に係る千葉県知事への要望について 公益社団法人の認可申請について 「訪問看護サポートセンターちば」の設置について 	<ul style="list-style-type: none"> 原案どおり承認 引き続き意見を頂くこととなった 原案どおり承認 訪問看護ステーションの人達に、より分かるようにPRしていくとしたうえで、原案どおり承認

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第3回	7月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度予算に係る千葉県知事への要望について 公益社団法人への移行認定申請について 千葉県看護協会職員給与規定の改正について 	<ul style="list-style-type: none"> 7月中を期限とし、引き続き意見を聞いて進めることとなった 質疑応答及び意見を踏まえ整理することとしたうえで、原案どおり承認 原案どおり承認
第4回	9月15日	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人への移行認定申請について 東日本大震災にかかる見舞金について 平成23年度（社）千葉県看護協会事業の進捗状況について 	<ul style="list-style-type: none"> 地区部会設置運営（会計）規程については、12地区部会という形で案を作成することとし、認定申請書については原案どおり承認 規程に明記することとしたうえで、原案どおり承認 原案どおり承認
第5回	11月10日	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人移行事務について 公益社団法人の組織運営に関する規則、規程の整備について 千葉県看護協会創立30周年記念行事について 	<ul style="list-style-type: none"> 原案どおり承認 引き続き11月18日まで意見を頂き、規則規程案を作成することとなった 原案どおり承認
第6回	12月8日	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人の組織運営に関する規則、規程について 平成23年度収支補正予算（案）について 平成23年度（社）千葉県看護協会2月通常総会について 平成24年度（社）千葉県看護協会事業計画について 	<ul style="list-style-type: none"> 意見、質疑応答が交わされ、一部採決を行った ①会員増促進委員会については、挙手による賛成多数により、広報委員会とは別に設けることとなった ②役員の任期については、全会一致により、専務理事及び常任理事の除外規定をなくし、一律に任期6年とすることとなった以上を踏まえ、原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認 参考資料を踏まえて12月中に理事より意見を頂き、1月の理事会で改めて審議することとなった
第7回	平成24年1月12日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度（公社）千葉県看護協会事業計画について 平成24年度（公社）千葉県看護協会収支予算について 	<ul style="list-style-type: none"> 意見、質疑応答が交わされ、委員会開催回数及び医療看護における安全対策については以下のとおりとなった ①職能委員会開催回数については、年6回程度とすることとなった ②医療看護における安全対策の事業区分については、申請内容と異なる事業区分を行った場合の影響等について県に確認をとったうえで対応を考える以上を踏まえ、原案どおり承認 事業名等を適宜修正することとしたうえで、原案どおり承認

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第8回	3月8日	<ul style="list-style-type: none"> • 平成24年度（公社）千葉県看護協会の第1回理事会について • 平成24年度（公社）千葉県看護協会役員の役割分担について 	<ul style="list-style-type: none"> • 意見、質疑応答が交わされ、以下のとおりとなった ①開催期日については、原案どおり承認 ②議事及び議題における諸規程については、今回の意見、質疑応答を踏まえ、また4月5日の次回理事会まで引き続き意見等を頂いたうえで、必要があれば適宜修正することとなった • 原案どおり承認

地区部会長会報告

専務理事 山木まさ

回数	開催日	内容
第1回	平成23年 6月23日	<p>I. 議題</p> <ol style="list-style-type: none">平成23年度(初)千葉県看護協会の事業について<ol style="list-style-type: none">千葉県看護協会定款・細則について重点事項・事業計画について協会組織機構図・運営組織図・事務局体制について公益社団法人への移行について地区部会活動について<ol style="list-style-type: none">地区部会活動の役割について平成22年度地区部会活動報告について平成23年度地区部会活動年間計画について地区部会の円滑な実施（事務処理等の取扱い）についてその他 <p>II. 意見交換</p> <p>公益社団法人における地区部会活動のあり方について</p>
第2回	平成23年 10月20日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none">平成23年度地区部会事業の進捗状況について公益社団法人への移行認定申請の進捗状況について公益社団法人における地区部会の設置について
第3回	平成24年 3月1日	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none">平成24年度公益社団法人千葉県看護協会事業計画について公益社団法人における地区部会活動についてその他

施設等会員代表者会報告

専務理事 山木 まさ

回数	開催日	場所	内容
第1回	平成23年 7月21日	千葉県看護会館 大研修室	<p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度(社)千葉県看護協会の事業及び運営について 公益社団法人への移行について アンケート調査の結果について <p>II 講演 「看護管理者に期待するもの」 講師 公益社団法人日本看護協会 会長 坂本 すが 氏</p> <p>III 活動報告 「東日本大震災における災害支援ナースの活躍」 災害支援ナース：公立長生病院 桑垣 早苗 氏 看護管理者：(医)創造会 平和台病院 統括看護部長 平井 明子 氏</p> <p>IV 意見交換 「千葉県看護協会の災害支援ナースの取組み ～円滑な災害支援ナースを派遣するために～」</p>
第2回 (臨時)	平成23年 11月24日	千葉県看護会館 大研修室	<p>I 講演 「ワーク・ライフ・バランスの推進」 ～労働法令を踏まえて雇用の質の向上をはかる～ 講師 ライフアンドマネーコンサルティング株式会社 LMC社労士事務所 代表取締役 蒲島竜也 氏</p> <p>II 議事 「公益社団法人移行事務について」 「公益社団法人移行に伴う関連諸規程の整備」</p> <p>III 連絡事項</p>
第3回	平成24年 1月19日	千葉県看護会館 大研修室	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度(社)千葉県看護協会事業の進捗状況について 看護職の確保定着動向調査結果について 新人看護職員研修に関する調査結果について <p>II 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度(社)千葉県看護協会2月通常総会について 公益社団法人における関連諸規程等の整備について 平成24年度(公社)千葉県看護協会事業計画・収支予算(案)について その他 <p>III 実践報告 「ワーク・ライフ・バランスの推進 ～平成23年度の取組み～」 千葉県看護協会 WLB推進アドバイザー 山田 みどり</p> <p>IV 講演 「社会保障・税一体改革について ～平成24年度医療保険・介護保険制度改正の行方～」 講師 (公社)日本看護協会 参与 樋口 正昇 氏</p>

職 能 委 員 会 報 告

保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 寺 島 正 子

I 活動目標

- 1) 保健師が専門性を発揮し効果的な保健活動が推進できるよう保健師一人ひとりの資質の向上を図る。
- 2) 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る。

II 活動計画

- 1) 保健師職能集会、保健師活動交流会の開催
- 2) 保健指導ミーティングの開催
- 3) 保健師の現任教育に関する検討
- 4) 保健師職能だよりの発行

III 活動内容

1. 保健師職能集会

1) ねらい

平成23年3月11日に発生した東関東大震災では、千葉県も大きな被害を受け、県内各所で被災者への支援活動が行われました。

突然、地域が被災した時、大きな混乱の中で保健師にはどのような行動が求められるのでしょうか。専門性を生かして迅速に効果的に保健師活動を展開するにはどうすればよいのかを共に考える機会とする。

2) 日 時 平成23年8月26日(土) 9:30~15:30

3) 会 場 千葉県看護会館 中研修室

4) 内 容

- (1) 平成22年度保健師職能委員会報告
- (2) 平成23年度保健師職能委員会活動計画
- (3) 平成23年度日本看護協会保健師職能委員会活動計画
- (4) 実践報告 「被災地における保健師活動」
 - ・被災地区(旭市飯岡地区)の活動
 - ・県の活動から
- (5) 意見交換 テーマ「被災地のためにあなた(保健師)は何ができますか!」

震災時の各所属の対応を振り返り、どのように動いたか。
また、所属で何が不足していたか、何が必要であったかを話し合い考えた。
職場の災害マニュアルの再検討の必要性や日ごろの訓練が必要。